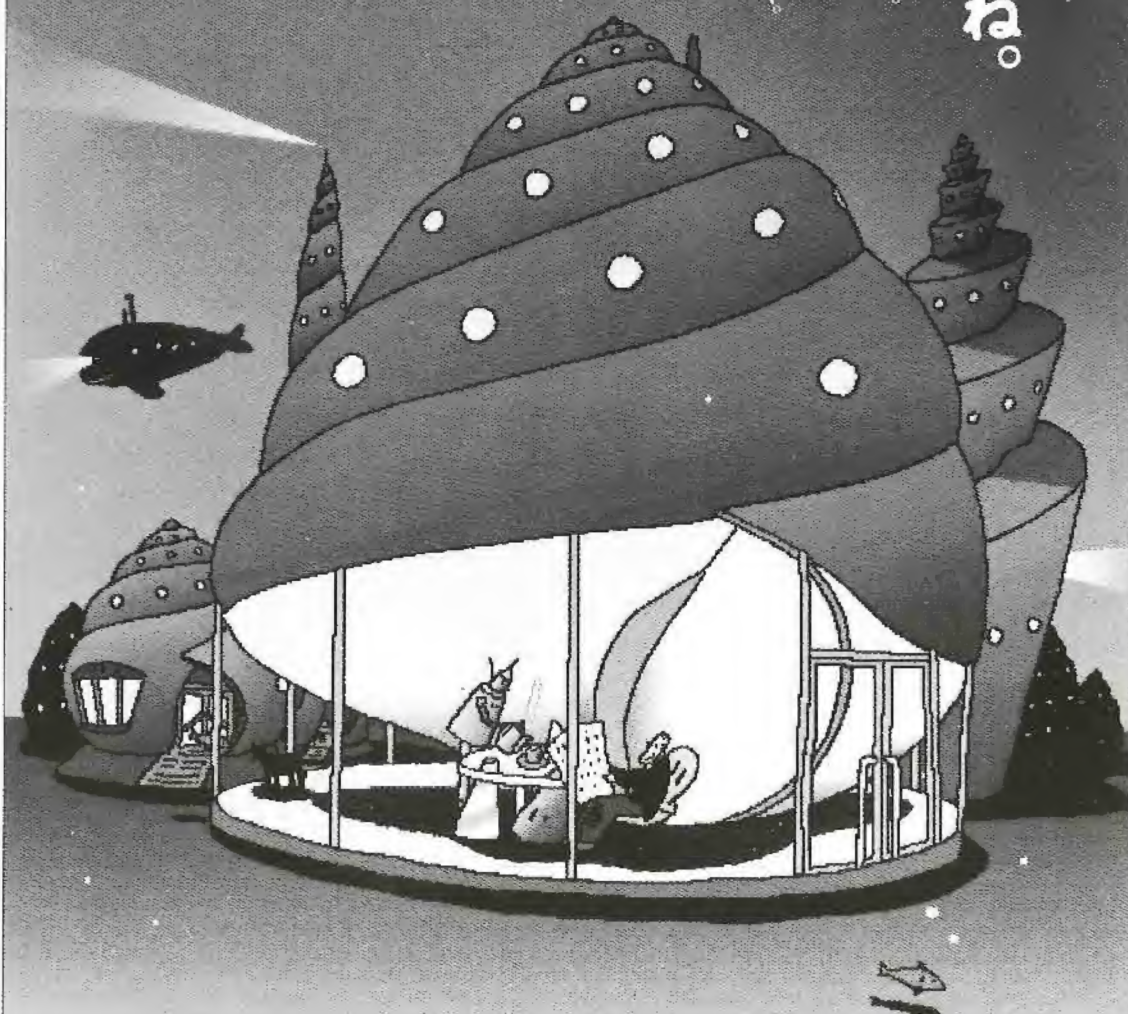
HITACHI
技術の日立

技術にも、
体温があるんだね。

どこへ行ったら会えるという存在でもないのに
毎日、たくさんの便利や快適を送りとどけている。
いないように見えて、ちゃんとそこにいる。
それが、私たちの技術の正体なんです。
みんなの幸せのためにがんばっています、よろしく。
これからも、ずっとずっと人と技術の
あたたかい関係を考えていきます。日立です。



人と技術の理想をめざす **Interface**
株式会社 日立製作所

財団法人　日本ハンドボール協会
平成3～4年度　役員名簿

理事	斎藤英四郎	（会長）
理事	荒川清美	（副会長）
理事	立石孝雄	（副会長）
理事	米倉　功	（副会長）
理事	安藤純光	（専務理事）
理事	塩川安賢	（常務理事・総務担当）
理事	清水　正	（常務理事・財務担当）
理事	西村亮治	（常務理事・企画、リーグ担当）
理事	竹野奉昭	（常務理事・国際担当）
理事	川上整司	（常務理事・広報担当）
理事	市原則之	（常務理事・強化担当）
理事	大塚文雄	（常務理事・審判担当）
理事	伊藤和夫	（常務理事・普及担当）
理事	大西武三	（常務理事・指導担当）
理事	山下　泉	（アジア選手権担当）
理事	尾高義彦	
理事	平田幸男	
理事	植村　繁	
理事	中澤重夫	
理事	須藤健児	
監事	松本重夫	
監事	大野金一	
参事	中村　崇	
参事	森　恭一	
参事	村井輝邦	
参事	吉田定静	
参事	松原　忠	
参事	森　豊夫	
参事	柳井文治	

各理事の紹介、委員会メンバー等については次号でお知らせします。

第14回全国高校選抜大会

男子 久留米工大付（4年ぶり5回目）
女子 名古屋短大付（3年ぶり3回目）

第14回全国高校選抜大会は、3月25日から28日までの4日間、愛知県体育館で男女各26チームが参加して開催された。

男子は下馬評の高かった久留米工大付（福岡）が、順当に勝ち進み、決勝では食い下がる桃山学院（大阪）をふり切って4年ぶり5回目の優勝を飾った。一方の女子は、名古屋短大付（愛知）と川崎北（神奈川）の決勝戦となったが、名古屋短大付が終盤粘る川崎北をふり切って3年ぶり3回目の優勝を飾った。

男子

1回戦

東京（東京）20〔12－6、8－9〕15 那賀（和歌山）

〔戦評〕立ち上がり、東京は伊藤の速攻で先取し、4連続得点と好スタートを切った。那賀は、東京の速い守りに攻めあぐむが、上西のサイド、生熊のロングなどで追撃する。しかし、スピードに勝る東京の攻撃を守り切れず、12－6と東京の6点リードで前半を終了。

後半に入り、那賀は生熊のロングなどで3点差まで追い上げるが一歩およばず、20－15で東京の勝利で終わった。

	〔那賀〕	得	〔東京〕	得
GK	山崎	0	安部	0
GK	岸	0	一柳	0
FP	加藤	1	高瀬	3
FP	上西	3	村山	4
FP	生熊	6	内藤	4
FP	赤山	1	松浦	0
FP	亀井	4	伊藤	2
FP	竹内	0	石澤	2
FP	坪野	0	天野	3
FP	岡本	0	宮本	1
FP			村越	1
FP			原本	0
PT	(1)	15	(1)	20

〔審・板倉、岩本〕

岡崎城西（愛知）20〔12－4、8－8〕12 東山（京都）

〔戦評〕立ち上がり、お互いややや緊張からか得点が入らず、5分過ぎより岡崎城西のキャプテン中村の連続得点、また彼からの攻めによりディフェンスを崩し、岡崎城西が徐々に得点を引き離していった。東山はやや無理な攻めで得点ができず、前半は12－8で終わった。後半は一進一退の戦いで、前半の得点差を守り岡崎城西が勝利を得た。

	〔東山〕	得	〔岡崎〕	得
GK	宮崎	0	江上	0
GK	山田	0	寺島	0
FP	横沢	4	中村	7
FP	高橋	0	森	2
FP	森下	0	山本	2
FP	下村	3	相木	5
FP	藤本	4	原	1
FP	中小路	1	古庄	0
FP	小林	0	川合	0
FP	堀井	0	簗瀬	1
FP	伊原	0	水野	2
FP	西村	0	堀木	0
PT	(2)	12	(4)	20

〔審・高田、田村〕

香川中央（香川）25〔10－9、9－10、3－3、3－3、PTC 2－0〕25 興南（沖縄）

〔戦評〕前半は香川・平田、興南・外間の両エースの活躍で互いに譲らず互角に試合を進める。後半、香川は相手のミスをつき速攻で着実に加点し、ペースをつかみかけたが、粘る興南をなかなか引き離せない。リードしているにもかかわらず焦る香川の攻撃にミスが出て残り1分、興南は同点に追いつく。延長戦に入っても一進一退は続き、両者必死の粘りを見せ、PTCにもつれ込む。PTCの結果、2－0で香川中央が勝利をつかんだ。

	〔興南〕	得	〔香川〕	得
GK	伊禮	0	相馬	0
GK	新垣	0		
FP	与座	0	藤谷	0
FP	糸数	1	明石	0
FP	棚原	1	増本	2
FP	名嘉	7	大山	10
FP	棚原	2	久保	0
FP	比嘉	2	原田	2
FP	徳松	1	入谷	1
FP	外間	9	藤沢	0
FP	宮里	2	平田	8
FP	外間	0	西村	2
PT	(0)	25	(0)	25

〔審・島崎、井上〕

青森商（青森）22〔13－7、9－6〕13 釧路湖陵（北海道）

〔戦評〕開始早々、両チーム積極的にシュートを打ち合い6－3。10分から20分にかけて落ち着いたゲームの流れに変化し、両チームとも2点ずつ得点したが、高谷を軸とするパワー、体格に勝る青森商がスピードの釧路湖陵に勝り、13－7で折り返す。

後半に入り、釧路も懸命の粘りを見せるが、青森商・高谷の活躍でじりじりとリードを広げ、22－13で青森商が勝利を収めた。

	〔釧路〕	得	〔青森〕	得
GK	小川	0	竹森	0
GK	渡部	0	大沢	0
FP	松山	3	高谷	11
FP	横山	3	山口	4
FP	森	1	福田	3
FP	山辺	1	穐元	0
FP	松川	1	成田	0
FP	赤代	0	工藤	0
FP	中川	4	小野	1
FP	池神	0	工藤	3
FP	西池	0	神鴨	0
FP	汲田地	0	田村	0
PT	(1)	13	(2)	22

〔審・杉本、工藤〕

吉井（群馬）19〔8－8、11－9〕17 市岐阜商（岐阜）

〔戦評〕両チームとも長身のロングシューターを配したチームである。吉井は、田島、加藤を中心にフリースローからのセットプレー、市岐阜商は加藤、水野を中心にサイドのローリングからロングシュート、立ち上がりから両校セット勝負となり、8－8の同点で前半を終了。

後半に入っても力の均衡した両チームは1点を争う好ゲームを展開する。10分過ぎ、2点差に開いた吉井がGK小沢の好守に助けられ、そのまま勝利をつかんだ。

	〔岐阜〕	得	〔吉井〕	得
GK	宮沢	0	小沢	0
GK	岡崎	0	井川	0
FP	鈴木	2	飯塚	0
FP	塩谷	6	田島	6
FP	平下	0	加藤	3
FP	加藤	2	茂木	1
FP	高木	1	今井	0
FP	水野	6	小笠原	0
FP	土田	0	森田	0
FP	堀	0	高橋	3
FP	北島	0	大河原	3
FP	二村	0	高橋	3
PT	(0)	17	(1)	19

〔審・藪内、中森〕

新居浜工（愛媛）23〔9－5、14－10〕15 北陸（福井）

〔戦評〕北陸のスローオフで始ま

ったが、新居浜工が西川のサイド、福田のセンターからのカットインなどで立ち上がり5分に3－0とした。北陸は走り込んでのロングシュートがなかなか決まらず、前半14分まで得点できなかった。新居浜工のフェイントからのしつこい攻撃に北陸はペナルティや退場をとられ、前半はペースに乗れなかった。

後半に入っても新居浜工のペースは衰えず、ペナルティ、ルーズボールからの速攻、サイドシュートなどで加点した。一方北陸は、サイドシュート、ペナルティなど新居浜工のGK有友の好守にあい散発的に得点をするがペースに乗り切れず、終了5分前に連続得点をするが、悔いの残る試合であったと思う。

	〔北陸〕	得	〔新居浜〕	得
GK	安藤	0	有友	0
GK	大原	0	藤田	0
FP	中谷	2	福田	6
FP	高橋	0	土岐	7
FP	坪川	0	宇佐美	0
FP	金谷	0	高橋	4
FP	上野	0	伊藤	0
FP	神吉	1	西川	4
FP	荒尾	7	古川	2
FP	網干	1	大元	0
FP	中根	4	守谷	0
FP	北川	0	長谷川	0
PT	(1)	15	(6)	23

〔審・足立・永田〕

桃山学院（大阪）27〔10－7／17－9〕16 尾道（広島）

〔戦評〕前半10分までは、桃山ポストプレー、尾道はロングシュートで互角であったが、長身者の多い尾道に対し、桃山は前への早いディフェンスで相手の足を止め、速攻でリードする。後半も桃山の激しいチェックにより尾道のロングシュートも単発に終わり、ディフェンスからの速攻、大野のロング、ミドルなどで着々と加点した桃山が快勝した。

	〔尾道〕	得	〔桃山〕	得
GK	中村	0	福谷	0
GK	佐原	0	岡部	0
FP	林	8	白鳥	4
FP	西中	0	高橋	2
FP	須藤	0	中久喜	3
FP	島田	4	鈴木	1
FP	縞谷	0	河村	1
FP	熊野	4	中野	3
FP	片岡	0	文平	2
FP	山本	0	大坪	0
FP	本田	0	大野	11
FP	白岩	0	桐島	0
PT	(2)	16	(5)	27

〔審・細沢・清水〕

市川（千葉）28〔17－5／11－8〕13 函館有斗（北海道）

〔戦評〕立ち上がりから市川の近藤、福田を中心とするきれのよいフェイントとスピードある攻撃に有斗ディフェンスはほんろうされ6分、12分、17分と相次いで退場者を出した。有斗は9分、石井のロングで3点目を取るが、以後、市川の前に出るディフェンスを崩せず、19分まで得点できなかった。それに対し、市川は秋葉、篠田を中心に得点を重ね、前半17－5の大差で折り返した。後半に入っても市川ペースは崩れず、下西のポストシュートなどで加点した。有斗は石井のロングを中心に反撃するが、時すでに遅く、28－13の大差で市川が有斗を破った。

	〔有斗〕	得	〔市川〕	得
GK	藤巻	0	藤牧	0
GK	林	0	百瀬	0
FP	吉田	0	下西	4
FP	斉藤	0	中野	1
FP	山崎	0	近藤	5
FP	西川	1	山中	0
FP	和泉	0	猪野	3
FP	浜西	4	秋葉	3
FP	篠田	1	福田	6
FP	石井	6	西谷	5
FP	新妻	1	珠数	0
FP	山田	0	安生	1
PT	(2)	13	(5)	28

〔審・浅井・家永〕

熊本市商（熊本）19〔8－7／11－4〕11 桜台（愛知）

〔戦評〕前半、13分まで2－2のスローペースなゲーム展開となる。熊本は速攻で3点を連取し、ペースをつかみかけるが、桜台も永田のサイドシュートなどでよく粘り、一進一退のゲームとなった。

後半に入って、熊本はスピードある攻撃でじりじりと突き放す。桜台は熊本の高い守りを攻めきれず、結局パワーに勝る熊本が勝利を収めた。

	〔桜台〕	得	〔熊本〕	得
GK	岩井	0	村上	0
GK	日原	0	中村	0
FP	三輪	0	岩崎	4
FP	中谷	0	平井	2
FP	福山	0	田中	2
FP	西村	1	城戸	1
FP	高阪	1	野田	0
FP	永田	5	塩崎	0
FP	松川	1	馬場	2
FP	加藤	0	石橋	1
FP	林	2	米満	3
FP	深川	1	森山	4
PT	(1)	11	(2)	19

〔審・島崎・井上〕

横浜商工（神奈川）27〔14－6／13－10〕16 四日市工（三重）

〔戦評〕立ち上がりから両チームともよく走り、早いパス回しからカットインプレー、サイドシュートなどで攻撃し、点を取り合ったが、横浜商工の方がややシュート力に勝り、またGKの好守もあり前半を14－6で折り返した。

後半に入り、四日市工は3－3のディフェンスに出たりポストプレーなどで連続得点しリズムに乗りかけたが、横浜商工はあわてずマイペースなボール回しからカットイン、ロングシュートで得点するが、前半の失点が大きくなかなか追いつけず、そのままノータイムとなった。

	〔四日市〕	得	〔横浜〕	得
GK	吉川	0	藤田	0
GK	浜田	0	伊藤	0
FP	中村	3	小菅	2
FP	坂下	3	関根	6
FP	国分	2	高橋	2
FP	矢田	3	高野	3
FP	上村	3	鈴木	4
FP	浜	2	中島	2
FP	古川	0	戸村	7
FP	石田	0	海上	0
FP	水野	0	佐高	0
FP	達知	0	加藤	1
PT	(1)	16	(3)	27

〔審・兼田・川口〕

2回戦

下松工（山口）18〔7－8／11－4〕12 東京

〔戦評〕前半、お互いの1・5ディフェンスに攻め手を欠き、下松工は広政のロングシュート、東京は高瀬のサイドシュートをきっかけにして得点を積み重ねていった。

後半に入ってすぐ下松工が逆転に

成功し、GK荻原の好キーピングもあり波に乗った下松工の一方的な試合となった。後半まで東京はスタミナがもたなかったのが残念である。

〔東京〕	得		〔下松〕	得
安部	0	GK	荻原	0
一柳	0		樫部	0
高瀬	4	FP	広政	8
村山	3		岡田	0
内藤	2		田畑	0
松浦	0		元久	1
伊藤	0		辻	3
石澤	2		宮本	0
天野	1		坂根	2
宮本	0		田村	0
村越	0		原田	0
亀子	0		保科	4
(1)	12	PT	(3)	18

〔審・杉本・工藤〕

岡崎城西 18 〔8－7, 10－8〕 15 香川中央

〔戦評〕試合開始早々、香川がポンポンと2点を連取。5分過ぎから岡崎城西がリズムを取り戻し、10分頃には3－3の同点とする。15分頃までお互い無得点が続いたが、15分過ぎからゲームが動きだし、香川・大山、平田のスカイをはさみ、両チーム一進一退の展開が続いたが、8－7と岡崎城西が1点リードして前半を終了。

後半の立ち上がり、岡崎城西・中村、山本のシュートが決まり、香川も大山を軸に粘りをみせ必死に食い下がる。結局、要所で中村を中心とした岡崎城西が常に3点をリードをキープして18－15で勝利を収めた。

〔香川〕	得		〔岡崎〕	得
相馬	0	GK	江上	0
			寺島	0
藤谷	0	FP	中村	7
明石	0		森	0
増本	1		山本	3
大山	7		相木	6
久保	0		原	2
原田	2		古庄	0
入谷	0		川合	0
藤沢	1		簗瀬	0
平田	2		水野	0
西村	2		堀木	0
(1)	15	PT	(1)	18

〔審・浅井・家永〕

金沢市工(石川) 28 〔11－9, 17－6〕 15 青森商

〔戦評〕前半、一進一退の攻防が続き、14分まで5－5の同点であった。金沢市工は青森商の両45度に対してよく前に詰めたが、ポストのマークが甘くなり、ポストがからんだ得点は9点のうち7点もあった。一方、金沢市工は全員が得点することができ、サイド、ポスト、センターからミドルシュートなど、どこからでもまんべんなく得点を重ねていった。

後半立ち上がり、青森商は小野のロングシュート、高谷のPTですぐに同点に追いついたが、金沢市工のディフェンスは詰めが早く、青森商はパスミスが多くなり、金沢市工は速攻などで9連続得点をあげて試合の流れは一方的に金沢市工になってしまった。青森商はディフェンスで1・5や2・4を試みたが、流れは最後まで金沢市工であった。

〔青森〕	得		〔金沢〕	得
竹森	0	GK	生瀬	0
大沢	0		高畠	0
高谷	4	FP	山形	1
山口	1		高	6
福田	3		笹浪	5
穐元	2		松田	10
成田	0		中村	1
工藤	0		永原	1
小野	3		南野	3
工藤	2		山城	1
神	0		原	0
田村	0		大矢	0
(2)	15	PT	(0)	28

〔審・黒木・渡辺〕

久工大附(福岡) 31 〔18－3, 13－5〕 8 吉井

〔戦評〕サイドシュート、速攻で開始早々リードを奪った久工大附が有利に試合を進める展開となった。吉井も田島のロングを中心に応戦するが、着実にチャンスをものにし、加点していく久工大附が18－3の大量リードで折り返した。

後半に入っても久工大附の一方的な試合展開は変わらず31－8の大差で終了した。吉井にとっては実力を十分に発揮できないまま終わった試合であった。

〔吉井〕	得		〔久工大〕	得
小沢	0	GK	坪根	0
井川	0		森	0
飯塚	0	FP	瀬戸	0
田島	1		三津	4
加藤	0		植村	5
茂木	2		三谷	3
今井	0		木村	2
小笠原	0		中村	1
森田	0		浜川	1
高橋	0		西	5
大河原	3		山口	6
高橋	2		井伊	4
(1)	8	PT	(3)	31

〔審・　　〕

浦和学院(埼玉) 24 〔15－7, 9－12〕 19 新居浜工(愛媛)

〔戦評〕立ち上がり、新居浜工はミスが目立ち、5点のビハインドを背負う。その後は一進一退が続くが、浦和学院・山口などの高さのあるシュートなどでパワー、スピードに勝る浦和がじりじりと引き離し、15－7で前半を終了した。

後半に入り、新居浜工はミスがなくなり、攻めにつながりが出て本来の新居浜工らしさを出したものの、浦和GK諸橋の好守に阻まれ点差を詰めることができなかった。

〔新居浜〕	得		〔浦和〕	得
有友	0	GK	新井	0
藤田	0		諸橋	0
福田	4	FP	山口	7
土岐	5		芹沢	2
宇佐美	0		須藤	1
高橋	4		小山	0
伊藤	0		原	0
西川	4		大邑	0
古川	2		斉藤	6
大元	0		北川	0
守谷	0		佐藤	3
長谷川	0		大高	5
(4)	19	PT	(3)	24

〔審・黒木・渡辺〕

桃山学院 21 〔9－7, 12－9〕 16 学法石川(福島)

〔戦評〕両チームとも全員がよく走り、スピードと力感あふれるプレーを見せ、終始激しい攻防をくり広げた。立ち上がりはオフェン

〔石川〕	得		〔桃山〕	得
荒川	0	GK	福谷	0
郷	0		元村	0
辻	2	FP	白鳥	3
斉須	1		高橋	3
藤田	2		中久喜	3
大河内	2		鈴木	1
鈴木	0		河村	3
矢吹	4		中野	1
武蔵	0		文平	3
大塚	0		大坪	0
佐久間	5		大野	4
福地	0		桐島	0
(1)	16	PT	(3)	21

〔審・　　〕

スのミスが目立ったが、次第にペースをつかみ一進一退の展開で前半を終了。

後半も同様のペースでゲームが進んだが、7分過ぎ学法石川の相次ぐ退場をきっかけに桃山が一気にスパートし5点差とした。学法石川も粘りを見せるが、点差を縮めるまでには至らずゲーム終了。

熊本市商21〔9－8 12－10〕18市川

〔戦評〕立ち上がりから両チームともカットイン、ポスト、ロングと多彩な攻撃で一歩も譲らず、一進一退の攻防を展開した。15分を過ぎたあたりで市川が熊本の下がり気味の一線ディフェンスを攻めあぐむようになり、これを熊本は速攻に持ち込む良い形でリードするが、前半終了間際にミスを連発、逆に市川が速攻で追い上げ、1点差で折り返した。

後半に入っても1点を争う内容で、熊本が森山のカットイン、速攻でリードすれば、市川も下西のポストで追いつき、息をのむ展開となった。後半20分過ぎ、市川がシュートミスを続けたところで熊本は確実に得点し、勝負を決めた。

得	〔熊本〕		〔市川〕	得
0	村上	GK	藤牧	0
0	中村	GK	百瀬	0
4	岩崎	FP	下西	7
1	平井	FP	中野	0
4	田中	FP	近藤	5
0	城戸	FP	山中	0
0	野田	FP	猪野	2
0	馬場	FP	秋葉	3
0	石橋	FP	福田	1
0	大越	FP	西谷	0
4	米満	FP	珠数	0
8	森山	FP	安生	0
21	(2)	PT	(2)	18

〔審・川口 兼田〕

育英（兵庫）27〔11－10 11－12 2－2 3－2〕26横浜商工

〔戦評〕前半立ち上がり、育英・田中のロングシュート、北村のポストシュートが決まり、育英のペースで試合が進んだ。しかし、横浜は落ち着いて自分たちのプレーを続け、徐々に点差を詰めていった。後半に入っても両チーム速い動きで一進一退の攻防が続いた。後半20分、育英が3点リードし、勝負あったかに思われたが、終始自分たちのペースを守り続けた横浜が残り10秒で追いつき延長に入った。

延長に入り、田中のシュートが決まり育英ペースで進んだ。横浜も必死で追いつこうとしたが、育英が1点差で逃げ切った。

得	〔育英〕		〔横浜〕	得
0	水谷	GK	藤田	0
0	田中	GK	伊藤	0
0	守口	FP	小菅	1
4	北村	FP	関根	10
0	松岡	FP	高橋	3
6	上野	FP	高野	4
11	田中	FP	鈴木	2
6	高木	FP	中島	0
0	森田	FP	戸村	6
0	清水	FP	海上	0
0	大原	FP	佐高	0
0	中野	FP	加藤	0
27	(2)	PT	(2)	26

〔審・浅井 家永〕

3回戦

下松工22〔13－12 9－8〕20岡崎城西

〔戦評〕岡崎城西のスローオフに始まり、岡崎・中村のシュートで先制。すぐに下松工・坂根のサイドシュートで同点。両チームとも素早い動き、固いディフェンスにより好ゲームとなった。前半10分までは下松工のシュートが決まらず、岡崎城西のペースであったが、下松工GK荻原の好守により耐え、前半終了間際で逆転に成功、13－12で前半を終える。

勢いに乗った下松工は、後半も自分たちのペースでゲームを進め、2点差とする。しかし、岡崎城西も粘りをみせ15分過ぎに同点に追いつき、一進一退の好ゲームとなった。23分、下松工・元久のシュートが決まり再びリードを広げ、22－20と2点差で逃げ切った。

得	〔下松〕		〔岡崎〕	得
0	荻原	GK	江上	0
0	樫部	GK	寺島	0
8	広政	FP	中村	6
0	岡田	FP	森	1
0	田畑	FP	山本	0
3	元久	FP	相木	9
0	辻	FP	原	0
0	宮本	FP	古庄	0
6	坂根	FP	川合	0
1	田村	FP	簗瀬	2
0	原田	FP	水野	2
4	保科	FP	奥村	0
22	(1)	PT	(4)	20

〔審・仲田 植村〕

久工大附18〔8－6 10－8〕14金沢市工

〔戦評〕金沢・松田のミドルシュート、久工大附・三谷のサイドシュートで始まる。その後両チームとも単調なシュートが続き、思うような追加点が取れなかったが、20分過ぎ久工大附は速攻、ポストなどで連取し、前半を8－6とリードする。

後半に入り、久工大附の多彩な攻撃で点差が広がりかけたが、金沢市工もよく粘り、一進一退の攻防が展開される。中盤以降、地力に勝る久工大附が確実に加点し、18－14で勝利を収める。

得	〔久工大〕		〔金沢〕	得
0	坪根	GK	生瀬谷	0
0	森	GK	高畠	0
0	甲斐田	FP	山形	4
0	瀬戸	FP	高	2
4	三津	FP	笹浪	2
2	植村	FP	松田	2
1	三谷	FP	中村	0
3	木村	FP	永原	1
1	浜川	FP	南野	3
1	西	FP	山城	0
3	山口	FP	原	0
3	井伊	FP	大矢	0
18	(0)	PT	(2)	14

〔審・川口 兼田〕

桃山学院17〔8－5 9－5〕10浦和学院

〔戦評〕桃山学院が連続3得点、次に浦和学院が連続4得点とお互い速攻を武器に一歩も譲らぬ展開。13分、浦和・山口の退場により守りの穴をついて2得点した桃山が主導権を握り、前半を8－5で終了。後半に入り、出足鋭いディフェンスが浦和の攻撃を止め、点差を広げていった。両チームの堅い守りと桃山・福谷、浦和・諸橋の

好キーピングが光る試合であった。

浦和	得		桃山	得
新井	0	GK	福谷	0
諸橋	0	GK	元村	0
山口	3	FP	白鳥	2
芹沢	1	FP	高橋	4
須藤	0	FP	中久喜	1
小山	0	FP	鈴木	1
原	0	FP	河村	2
大邑	1	FP	中野	1
斉藤	1	FP	文平	1
北川	0	FP	大坪	0
佐藤	2	FP	大野	4
大高	2	FP	桐島	1
10	(2)	PT	(3)	17

〔審・田村 高田〕

熊本市商 24 〔10−9 14−9〕 18 育英

〔戦評〕立ち上がりから両チームシュートを打ち合い、おもしろいゲーム展開となる。先行したのは熊本市商で、米満らのシュートが決まり4−1でリードする。しかし、育英も負けず劣らず、5分過ぎから田中のロングで追い上げ、6−6と追いつく。その後は両チームとも速攻とロングを主体に似たような攻撃を展開、追いつ追われつの好ゲームとなる。

後半に入っても両者譲らず、激しい攻防をくり広げる。しかし残り10分、育英にミスが出て、ここを速攻でものにした熊本市商が波に乗り、差を広げていった。育英もなんとか食い下がろうとするが、熊本市商の勢いを止めるまでには至らなかった。

育英	得		熊本	得
水谷	0	GK	村上	0
田中	0	GK	中村	0
守口	0	FP	岩崎	3
北村	2	FP	平井	3
松岡	0	FP	田中	4
上野	5	FP	城戸	1
田中	6	FP	野田	0
高木	4	FP	馬場	0
森田	0	FP	石橋	0
清水	1	FP	大越	1
大原	0	FP	米満	6
中野	0	FP	森山	6
18	(3)	PT	(1)	24

〔審・楓 渡辺〕

準決勝

久工大附 20 〔13−7 7−5〕 12 下松工

〔戦評〕前半立ち上がり一進一退であり、10分過ぎより久工大附・中間のポストプレーを下松工が守れず、じりじりと点差が開いていった。下松工のロングシュートの確率が悪く、速攻へつながれ前半は13−7と久工大附がリードした。

下松	得		久工大	得
荻原	0	GK	坪根	0
樫部	0	GK	森	0
広政	3	FP	甲斐田	0
岡田	0	FP	瀬戸	0
田畑	0	FP	三津	1
元久	3	FP	植村	1
辻	3	FP	三谷	1
宮本	0	FP	木村	0
坂根	0	FP	浜川	2
田村	0	FP	西	5
原田	0	FP	山口	7
保科	3	FP	井伊	3
12	(0)	PT	(0)	20

〔審・島崎 井上〕

後半、下松工のシュートミス、久工大附のGKの好守により下松工に12分間得点がなく、逆に久工大附は前半同様ポストへパスを通す攻撃によりリードを広げ、20−12で勝利を収めた。

桃山学院 20 〔8−10 12−7〕 17 熊本市商

〔戦評〕前半10分間、熊本市商の高いディフェンスに桃山の大野、白鳥らのロングシュートがおさえられ、熊本市商がリードするが、相手反則から連続得点を得るなど中盤で桃山が粘る。しかし、終了5分前より森山らの得点で熊本市商の2点リードで前半を終える。

後半、大野の連続得点でペースをつかんだ桃山が開始後10分で逆転に成功、あせる熊本・米満の退場で差が開くかに見えたが、岩崎、平井らの頑張りで差を1点におさえる。しかし、再三ナイスキーピングを見せた桃山・福谷が終盤でも頑張り、中村、文平らのサイドシュートも決まるなど、白熱した好ゲームを桃山学院がものにする。

熊本	得		桃山	得
村上	0	GK	福谷	0
中村	0	GK	岡部	0
岩崎	4	FP	白鳥	0
平井	3	FP	高橋	2
田中	2	FP	中久喜	0
城戸	0	FP	鈴木	2
野田	0	FP	河村	2
馬場	1	FP	中野	4
石橋	0	FP	文平	3
大越	0	FP	大坪	0
米満	3	FP	大野	7
森山	4	FP	桐島	0
17	(3)	PT	(1)	20

〔審・高田 田村〕



決勝

久工大附 22〔9—8 / 13—7〕15 桃山学院

〔戦評〕強豪を連破し波に乗る桃山学院と実力どおりに勝ち上がってきた久工大附との間での決勝戦となった。

試合開始から両チームともにスピードを生かした展開となったが、得点チャンスを確実にものにしていく久工大附が終始リードする形で試合は進む。桃山も持ち味を生かした攻守で応戦し、1点差の好ゲームで前半を久工大附のリードで折り返した。

後半に入っても両チームとも素晴らしい動きを見せ一進一退の好ゲームが展開されたが、高いシュートブロックから速攻へ持ち込む展開でリズムをつかんだ久工大附がリードを広げる。桃山も必死に食い下がりペースをつかもうとするが、確実な得点力と固い守りを十分に発揮した久工大附が22—15で桃山学院を振り切り優勝を飾った。

得	〔久工大〕		〔桃山〕	得
0	坪根	GK	福谷	0
0	森	GK	岡部	0
0	池辺	FP	白鳥	1
0	三津	FP	高橋	2
2	植村	FP	中久喜	1
0	三谷	FP	鈴木	0
3	木村	FP	河村	3
0	中村	FP	中野	1
9	浜川	FP	文平	1
1	西	FP	大坪	0
1	山口	FP	大野	6
6	井伊	FP	桐島	0
22	(1)	PT	(1)	15

〔審・川口・兼田〕

女子

1回戦

川崎北（神奈川）17〔9—8 / 8—7〕15 岩国商（山口）

〔戦評〕立ち上がり両チームとも固さが見られ、ミスが多くなかなか得点につながらなかった。5分を過ぎたあたりで互いに調子を取り戻し、足が動くようになった。

そんな中で川崎北は早いつめで失点を防ぎ、船山のポストシュートを中心に着実に得点していくが、前半終了間際にミスを連発、これを岩国商が速攻に持ち込み、連続得点し1点差まで詰め寄った。

後半、お互いにシュートチャンスはあるのだが、シュートミス、パスミスなどミスが多く、決定打を欠くまま一進一退の攻防をくり返した。最後まで惜しいプレーが続いたが、武田のミドルなどでじわじわリードした川崎北が逃げ切った。

得	〔川崎北〕		〔岩国〕	得
0	北條	GK	坂井	0
0	池端	GK	河本	0
1	小森	FP	倉増	1
1	吉崎	FP	唐本	4
0	沓掛	FP	白地	0
5	船山	FP	太田黒	3
1	落合	FP	中村	3
0	森本	FP	佃	4
9	武田	FP	村上	0
0	若森	FP	小林	0
0	小圷	FP	山崎	0
0	松島	FP	藤光	0
17	(4)	PT	(2)	15

〔審・仲田・植村〕

宣　真（大阪）24〔14—6 / 10—7〕13 高松東（香川）

〔戦評〕高松東のスローオフで始まったが、立ち上がり両チームともやや固さが見られたが、3分過ぎに高松東がロングを決めれば、宣真はポストシュートで返し、10分過ぎまで点の取り合いが続いた。この後、宣真は速い走り込みでペナルティーを誘い、高松東には3回の退場が出るなどして14—6と大きく宣真がリードして前半を折り返した。

後半は、宣真・荒川のポストシュートをはじめ中里の速攻などで得点を重ねた。一方、高松東もキャプテン橋谷のロングなどで応戦するが、終わってみれば24—13と大差をつけたまま宣真が勝ち進んだ。

得	〔宣真〕		〔高松東〕	得
0	進藤	GK	多田	0
0	緒方	GK	細川	0
5	稲次	FP	熊野	2
1	野村	FP	石井	0
11	荒川	FP	土井	0
0	関	FP	赤松	0
1	小野	FP	十河	2
6	中里	FP	橋谷	7
0	大舘	FP	綾野	0
0	入江	FP	三谷	2
0	山本	FP	中村	0
0	米谷	FP	高畑	0
24	(6)	PT	(2)	13

〔審・松本・工藤〕

東海女（愛知）19〔10—1 / 9—9〕10 大分雄城台（大分）

〔戦評〕立ち上がり10分間は両チームともに決定力を欠き、得点が入らなかった。しかし、実力に勝る東海女はGKの好守に助けられながらも3本の速攻から自分たちのペースに持ち込み、得点を重ねていった。

後半に入って、大分雄城台は得点が決まるようになったものの、東海女のペースを止めることができなかった。

得	〔東海女〕		〔雄城台〕	得
0	山奥	GK	遠竹	0
0	多田	FP	古宅	0
6	前原	FP	児玉	1
1	内山	FP	甲斐	3
3	水野	FP	清水	4
0	石井	FP	高島	2
6	加藤	FP	富松	0
0	丸山	FP	木原	0
0	尾崎	FP	本田	0
3	小林	FP		
0	三浦	FP		
19	(0)	PT	(0)	10

〔審・中森・薮内〕

熊本女子（熊本）20〔13—6 / 7—9〕15 彦根商（滋賀）

〔戦評〕前半なかばまでは両チームとも固さがとれず、よく走ってボールをつなぐのだがなかなか決定打が出ない。そんな中、熊本女商・森下の活躍もあって徐々にエンジンがかかり、持ち前のクロス攻撃から加点、前半を13—6で折り返した。

後半に入ると、熊本女商に退場、失格者が出てやや浮き足だったところを彦根商のエース吉川が打ちまくり、じりじりと差を詰めるのだが、要所で熊本は効果的なシュ

ートが決まり、彦根の必死の追い上げも実らなかった。

	〔彦根商〕	得
GK	片山	0
	前川	0
FP	冨江	3
	田中	2
	吉川	9
	小菅	0
	辻	0
	尾本	0
	福川	1
	浅井	0
	木村	0
	川崎	0
PT	(2)	15

	〔熊本女〕	得
GK	木村	0
	橘	0
FP	竹内	1
	森下	12
	長嶺	1
	松村	1
	末金	3
	寺本	1
	東	1
	杉本	0
	木村	0
	立川	0
PT	(3)	20

〔審・足立 永田〕

浦和実（埼玉）24〔13－5 11－5〕10 静岡城北（静岡）

〔戦評〕立ち上がり、城北は萱津のステップシュートが決まり得点。これに対し浦和は横山のジャンプシュートで得点し、試合が動き始めた。10分過ぎまでは一進一退の展開であったが、浦和は堅いディフェンスから連続9得点をあげ主導権を握った。

後半に入っても浦和の勢いは衰えない。城北は新井がジャンプ、ステップと応戦するが、GKの好守にあいなかなか得点ができない。浦和は横山と鈴木のきれの良いジャンプシュートと堅いディフェンスにより確実に得点を重ね勝利を得た。

	〔城北〕	得
GK	瀧下	0
	近藤	0
FP	新井	8
	岩石	0
	海野	0
	加納	0
	萱津	2
	大畑	0
	川崎	0
	鈴木	0
	鈴木	0
	長島	0
PT	(3)	10

	〔浦和実〕	得
GK	帰山	0
	伊藤	0
FP	藤原	4
	竹花	4
	横山	5
	鈴木	5
	小川	0
	斉藤	2
	正田	4
	平沢	0
	夏目	0
	瀬戸	0
PT	(0)	24

〔審・板倉 岩本〕

郡山女（福島）18〔9－7 9－9〕16 栃木商（栃木）

〔戦評〕前半立ち上がり、両チームとも動きが固くミスが目立ったが、11分、栃木商・伊沢のカットインをきっかけにゲームが動きだし、15分過ぎから郡山女が伊東の速攻、今野のロングで得点を重ねて9－7で前半を折り返した。

後半、13分過ぎまで一進一退の攻防が続き、15分には栃木商が高瀬の連続速攻で同点に追いついたが、20分過ぎ退場者が出たところで万事休す、郡山女に得点を許しそのまま逃げ切られてしまった。

	〔栃木商〕	得
GK	福田	0
	青木	0
FP	直井	0
	伊佐野	6
	岡本	2
	麦倉	1
	小林	2
	伊澤	1
	入江	0
	小栗	0
	高瀬	4
	須長	0
PT	(0)	16

	〔郡山女〕	得
GK	安田	0
	吉田	0
FP	斉藤	0
	今野	3
	三本木	0
	横田	3
	千葉	2
	高田	3
	伊東	5
	志賀	2
	山本	0
	本田	0
PT	(2)	18

〔審・田村 高田〕

暁（三重）12〔4－5 8－5〕10 添上（奈良）

〔戦評〕立ち上がりはお互いに素早い動きでミスも少なく好内容であったが、決定力がないうえに両チームのGKの好守によりお互いに点が取れず、前半を終わって5－4で添上がリード。

後半も一進一退の攻防が続き、残り5分で10－10の同点。しかし、ここでこの試合1人で6得点をあげている暁・中川のロングシュートが決まり、また残り3分で暁・石原のカットにより2点差として最後の添上の連続攻撃にも耐えて暁が辛くも逃げ切った。

	〔添上〕	得
GK	福本	0
	松井	0
FP	杉原	7
	井口	2
	岡口	0
	上野	0
	河野	0
	厚地	0
	中尾	0
	西本	1
	飯田	0
	中竹	0
PT	(2)	10

	〔暁〕	得
GK	内田	0
	栗栖	0
FP	野田	0
	中川	7
	水谷	0
	岡	1
	鈴木	1
	石原	3
	松田	0
	野呂	0
	喜楽	0
	安藤	0
PT	(2)	12

〔審・渡辺 楓〕

山陽女（広島）24〔12－6 12－7〕13 小杉（富山）

〔戦評〕お互い自分たちのプレーができず苦しいスタート。前半5分は、ペナルティーを2本入れた山陽女が4－2でリードする。ここで互いに相手のディフェンスが崩せず5分間得点なし。少しずつ動きのかみ合ってきた山陽女が田中の速攻で点差を広げ、前半は12－6で終了。

後半、小杉の動きも見ちがえるように良くなり、連続2得点で試合の行方もわからなくなったが、左45度の新村の多彩なシュートも山陽の村実、玉野の高いブロックに阻まれ、逆に点差を広げられてしまった。

	〔小杉〕	得
GK	広瀬	0
	長谷	0
FP	鶴	2
	丸山	0
	新村	6
	光地	0
	川腰	2
	宮脇	1
	市橋	0
	梶谷	0
	辰口	2
PT	(2)	13

	〔山陽女〕	得
GK	鷲見	0
	藤間	0
FP	王野	4
	村実	6
	曽我	0
	田中	8
	岩槻	0
	玉木	2
	飯田	0
	山根	0
	青戸	4
	三宅	0
PT	(6)	24

〔審・川口 兼田〕

名短付（愛知）40〔20－5 20－4〕9 札幌月寒（北海道）

〔戦評〕開始早々、名短付が速攻、ミドルで4連続得点し、勢いに乗った。その後も地力に勝る名短付が速攻、カットイン、ロングと多彩な攻撃で着実にリードを広げていった。札幌月寒も精一杯食い下がろうとするが、個々の1対1の強さで一枚も二枚も上手な名短付を苦しめるには至らなかった。

	〔月寒〕	得
GK	福本	0
	堂佛	0
FP	山下	6
	村上	1
	尾形	0
	安田	1
	佐藤	0
	井上	0
	松本	0
	鬼柳	0
	野村	0
	松宮	1
PT	(0)	9

	〔名短付〕	得
GK	庵下	0
	洞口	0
FP	川口	4
	新地	4
	梶田	12
	山川	10
	中村	3
	黒木	2
	安田	4
	横川	1
	森村	0
PT	(3)	40

〔審・黒木 渡辺〕

江東商（東京）19〔10－5 9－6〕11 今治北（愛媛）

〔戦評〕前半立ち上がり、両チームとも固さがありなかなか得点に結びつかなかったが、江東商は根

本が15分、17分にパスカットから速攻に持ち込めば、18分、19分に水落がロングを決め少しずつリードを広げた。今治北はチャンスはできるがシュートが決まらず、キャプテン丹下がケガで退場するなど不運もあって10―5で前半を折り返した。

後半は両チームとも無理な攻めが目立ち、一進一退をくり返したが、残り5分の江東商の連続得点で後半も9―6と計8点差をつけて江東商が勝ち上がった。

〔今治北〕

	得
GK 白石	0
GK 島田	0
FP 矢野	3
FP 岡	0
FP 崎山	0
FP 関	0
FP 丹下	4
FP 矢野	1
FP 青野	0
FP 菅	3
FP 大仲	0
FP 土倉	0
PT	(2)
計	11

〔江東商〕

	得
GK 高橋	0
GK 古山	0
FP 根本	7
FP 村田	1
FP 高橋	1
FP 金子	2
FP 毛塚	0
FP 杉浦	0
FP 宮崎	1
FP 前原	0
FP 佐久間	0
FP 水落	7
PT	(2)
計	19

〔審・中細 野井〕

2回戦

川崎北 21 〔10―8 11―8〕 16 聖和学園（宮城）

〔戦評〕聖和2点リードで始まるが、川崎北も積極的なディフェンスから攻撃のリズムをつかみ、一進一退の攻防が続いたが、川崎北2点リードで前半を終了。後半、川崎北は固い守りと要所で武田が確実に勝利をものにした。

両チームのエースが小気味よいシュートを決め、最後まで緊張感のあるよい試合であった。

〔聖和〕

	得
GK 今内	0
GK 佐藤	0
FP 沼倉	2
FP 石垣	9
FP 桧野	0
FP 佐藤	2
FP 佐藤	1
FP 村上	0
FP 宍戸	1
FP 千代窪	1
FP 菱沼	0
FP 大内	0
PT	(2)
計	16

〔川崎北〕

	得
GK 北條	0
GK 池端	0
FP 小森	4
FP 吉崎	4
FP 沓掛	1
FP 船山	0
FP 落合	0
FP 森本	0
FP 武田	11
FP 若林	0
FP 小圷	0
FP 松島	1
PT	(5)
計	21

〔審・井島 上崎〕

東海女 18 〔11―6 7―10〕 16 宣真

〔戦評〕両チームとも持ち味を生かしたプレーを展開する。速いフットワーク、フェイントで攻める宣真に対し徹底して下がって守る東海女、前半20分あたりまで一進一退の攻防が続き、評判どおりの好ゲームとなる。しかし、残り5分で東海女が抜け出し、11―6で前半を終える。

後半開始直後、宣真の猛反撃が始まり、ロング、速攻などで10分過ぎに同点に追いつく。しかし、東海女も踏んばり、途中退場者を出したものの今日大活躍の前原がシュートを確実に決め、突き放しにかかる。宣真、最後までがんばるものの結局東海女が逃げ切った。

〔宣真〕

	得
GK 進藤	0
GK 緒方	0
FP 稲次	2
FP 野村	0
FP 荒川	5
FP 関	3
FP 小野	1
FP 中里	3
FP 大舘	2
FP 入江	0
FP 山本	0
FP 武藤	0
PT	(1)
計	16

〔東海女〕

	得
GK 山奥	0
GK 多田	0
FP 前原	11
FP 内山	0
FP 水野	1
FP 石井	0
FP 加藤	4
FP 丸山	0
FP 尾崎	0
FP 小林	1
FP 三浦	1
PT	(4)
計	18

〔審・清細 水沢〕

熊本女商 25 〔12―3 13―3〕 6 釧路湖陵（北海道）

〔戦評〕前半開始10分までは両チームとも動きが固く、凡ミスが続き得点できない。釧路は外からのロングシュートを打つが得点できず、熊本の速攻を受ける。速攻でリズムをつかんだ熊本は森下、松村のカットイン、サイドシュートなどで得点を重ねリードを広げた。

後半も釧路の攻撃は中央に片寄り、無理なロングシュートが多く得点のチャンスがつかめない。攻撃力に勝る熊本が勝利を収めた。

〔釧路〕

	得
GK 平塚	0
GK 梶沢	0
FP 遠藤	2
FP 相原	0
FP 佐々木	2
FP 谷川	0
FP 吉田	2
FP 藤田	0
FP 橋本	0
FP 田中	0
FP 永塚	0
FP 中村	0
PT	(0)
計	6

〔熊本女〕

	得
GK 木村	0
GK 橋	0
FP 竹内	2
FP 森下	8
FP 長嶺	3
FP 松村	6
FP 末金	3
FP 寺本	0
FP 東	2
FP 杉本	1
FP 立川	0
FP 田村	0
PT	(1)
計	25

〔審・足永 立田〕

小松市女（石川） 22 〔10―6 12―8〕 14 浦和実

〔戦評〕前半、小松市女はエース宮崎の個人技を生かしたロングシュート、ステップシュートで4連続得点をあげ、ゲームの主導権を握った。浦和実も小松市女の堅い守りに苦しみながらも、横山のロングシュートなどで食い下がり、前半を10―6と小松の4点リードで折り返した。

後半立ち上がり10分までは一進一退の攻防が続いたが、地力に勝る小松市女の強烈なディフェンスも打ち破られ、一方的な試合となった。

〔浦和実〕

	得
GK 帰山	0
GK 伊藤	0
FP 藤原	1
FP 竹花	5
FP 横山	2
FP 鈴木	3
FP 小川	0
FP 斉藤	1
FP 正田	2
FP 中松	0
FP 瀬戸	0
FP 増田	0
PT	(0)
計	14

〔小松〕

	得
GK 鏡森	0
GK 小前田	0
FP 大野	2
FP 北崎	1
FP 宮崎	11
FP 竹村	7
FP 東野	1
FP 森澤	0
FP 出野	0
FP 滝川	0
FP 中野	0
FP 木下	0
PT	(1)
計	22

〔審・中細 野井〕

本庄 21 〔7―7 8―8 3―1 3―2〕 18 郡山女

〔戦評〕立ち上がりから本庄はロングシュートが決まらず、郡山女は細かいミスから自分たちのペースをつかめず、決定力に欠けたため一進一退をくり返した。両チームともに速攻、ポストプレーでペースを取り戻そうとするが、両GKの好守に阻まれ、7―7の同点で後半を迎えた。

後半に入っても、試合の状況は変わらず、本庄の2回の退場の際の2点を郡山女は守れず延長となる。延長になってからは、本庄がポス

ト、ロング、サイドシュートと本来の力を発揮し、接戦をものにした。

	〔郡山女〕	得	〔本庄〕	得
GK	安田	0	坂田	0
GK	吉田	0	三升木	0
FP	斉藤	0	出口	0
FP	今野	8	黒木	9
FP	三本木	0	畠中	1
FP	横田	3	大生	1
FP	千葉	2	染矢	2
FP	高田	3	佐藤	0
FP	伊東	2	広瀬	6
FP	志賀	0	赤木	2
FP	山本	0	井上	0
FP	矢口	0	埊元	0
PT		(2)		(2)
		18		21

〔審・板倉、岩本〕

昭和学院（千葉）15〔8−5、7−6〕11 暁

〔戦評〕開始早々、昭和の前に出るディフェンスをフェイントで抜き2点を連取したが、昭和も2つのペナルティースローを確実に決め、中盤は特有の素早い動きで着実に得点を重ねリードを奪った。昭和の俊敏な動きに暁ディフェンスは岡の退場を含め警告2、得点は8−5で前半を折り返した。

後半立ち上がり、昭和がサイドシュート2本をおりまぜ3点を連取して波に乗る。昭和の厚いディフェンスを前に暁もがんばるが、どうしても今一歩追い上げることができなかった。

	〔暁〕	得	〔昭和〕	得
GK	内田	0	林	0
GK	栗栖	0	佐藤	0
FP	野田	0	嶋本	3
FP	中川	6	福田	0
FP	水谷	1	星	6
FP	岡	1	豊嶋	3
FP	鈴木	0	大野	1
FP	石原	3	細井	1
FP	松田	0	梅沢	0
FP	野呂	0	若林	0
FP	喜楽	0	阿部	1
FP	安藤	0	増田	0
PT		(3)		(5)
		11		15

〔審・渡辺、楓〕

名短付 23〔14−11、9−8〕19 山陽女

〔戦評〕前半は両チームとも早いパスワークから積極的な攻撃をしかけ、山陽は玉野、村実のロングシュート、名短付は川口、梶田、山川のロングシュートで得点を重ね、互角に戦ったが、前半残り5分、山陽の攻撃にミスが出て名短付が速攻とロングシュートでわずかにリードした。

後半立ち上がり、名短付は早いディフェンス・フットワークで山陽の攻撃をおさえ、山川のミドル、梶田のロング、カットインなどでリードを広げた。山陽も15分過ぎからサイド攻撃により点差を詰めるが、今一歩追いつくことができなかった。

	〔山陽女〕	得	〔名短付〕	得
GK	鷲見	0	庵下	0
GK	藤間	0	洞口	0
FP	王野	4	川口	3
FP	村実	9	新地	2
FP	曽我	0	梶田	11
FP	田中	2	山川	6
FP	岩槻	0	中村	0
FP	玉木	3	黒木	0
FP	飯田	0	安田	1
FP	山根	0	横川	0
FP	青戸	0	森下	0
FP	三宅	0		
PT		(0)		(2)
		19		23

〔審・仲田、植村〕

夙川学院（兵庫）26〔12−2、14−3〕5 江東商

〔戦評〕前半10分までは互いにミスが多く思ったような攻撃ができない。10分過ぎから夙川学院の速攻、ポストプレーが決まりだし、12−2とリードして前半を終了する。前半、ミスが多く本来の力を出し切れなかった江東商の反撃が期待されたが、後半に入っても夙川学院のディフェンスを崩せずに前半と同様夙川にうまく走られて得点を許し、大差のゲームとなってしまった。

	〔江東商〕	得	〔夙川〕	得
GK	高橋	0	伊吹	0
GK	古山	0	中井	0
FP	根本	0	藤原	0
FP	村田	0	大井	7
FP	高橋	0	小山	0
FP	金子	1	戝田	1
FP	藤井	0	碇	6
FP	宮崎	1	中尾	7
FP	早坂	1	柏木	0
FP	前原	0	市岡	2
FP	佐久間	0	小杉	2
FP	水落	2	田村	1
PT		(0)		(4)
		5		26

〔審・中森、薮内〕

3回戦

川崎北 18〔9−7、9−8〕15 東海女

〔戦評〕両チームとも相手をよく研究し、東海女・前原、川崎北・武田へのマンツーマン・ディフェンスを立ち上がりからひき、気の抜けない試合展開となった。得意のオフェンスを封じられながらも東海女はサイドががんばり、川崎北は早い展開からの攻撃で得点をあげ前半を終了した。

後半に入るとオーソドックスなディフェンスをひき、両チームともに持ち味を出し切る好ゲームとなった。しかし、東海女の速攻、半速攻を前・後半にわたってよくおさえた川崎北が試合をものにした。

	〔東海女〕	得	〔川崎北〕	得
GK	山奥	0	北條	0
GK	多田	0	池端	0
FP	前原	4	小森	5
FP	内山	1	吉崎	1
FP	水野	1	沓掛	3
FP	石井	0	船山	0
FP	加藤	4	落合	1
FP	丸山	0	森本	0
FP	尾崎	0	武田	8
FP	小林	4	若林	0
FP	三浦	1	小圷	0
FP			松島	0
PT		(4)		(3)
		15		18

〔審・浅井、家永〕

小松市女 18〔9−10、9−5〕15 熊本女商

〔戦評〕前半立ち上がり、小松市女は宮崎、竹村のロングシュートが決まり快調だった。その後シュートミスが続き、熊本女商の多彩な攻撃で逆転された。後半はじめは互いにラフなプレーが続き、互角の戦いとなった。その後一進一退が続く中、少し疲れの見られる熊本女商に対して小松市女はディフェンスからリズムをつけ、終盤に宮崎のロングシュートから試合を決めた。

	〔熊本女〕	得	〔小松〕	得
GK	木村	0	鏡森	0
GK	橘	0	小前田	0
FP	竹内	1	大野	3
FP	森下	9	北崎	0
FP	長嶺	2	宮崎	10
FP	松村	0	竹村	3
FP	末金	2	東野	1
FP	寺本	0	出野	1
FP	東	1	滝川	0
FP	杉本	0	中野	0
FP	木村	0	中野	0
FP	立川	0	木下	0
PT		(1)		(1)
		15		18

〔審・板倉、岩本〕

本庄19 〔7－8 12－8〕 16昭和学院

〔戦評〕前半は、本庄、昭和学院ともロングシュート、速攻、サイドシュート、ポストシュートと多彩な攻撃を見せ、昭和学院の星が3連続得点をすれば、本庄の大生が2連続得点をあげ応戦し、昭和学院の1点リードで終了した。
　後半も緊迫感のあるゲーム展開で激しい攻防となっ[illegible]、広瀬のロングシュートを中心とする攻撃で得点を重ねた本庄が逆転で勝利を収めた。

得	〔本庄〕		〔昭和〕	得
0	坂田	GK	林	0
0	三升木	GK	佐藤	0
0	出口	FP	嶋本	3
1	黒木	FP	福田	0
1	畠中	FP	星	6
4	大生	FP	豊嶋	0
6	染矢	FP	大野	1
0	佐藤	FP	細井	3
7	広瀬	FP	梅沢	0
0	赤木	FP	若林	0
0	井上	FP	阿部	2
0	李元	FP	増田	1
19	(2)	PT	(0)	16

〔審・島崎　井上〕

名短付17 〔6－6 11－8〕 14夙川学院

〔戦評〕先取点は夙川が奪ったが名短付は多彩な攻撃で得点を重ね一時は6－3で名短付がリード。ところが15分過ぎ、名短付・山川のペナルティースロー失敗を機に流れが一変して夙川ペースとなりペナルティー得点を含め、連続3点を連取して一気に同点に追いつき前半を終了。
　後半に入り、夙川・大井がポストから決め、夙川が初めてのリードを奪うが、名短付もすぐに13分ぶりの得点で追いつきゲームは一進一退が続く。15分過ぎ、今度は夙川・大井のペナルティーを名短付・庵下が阻止すると、名短付が流れを奪い、2点を連取して主導権を握り、17－14で逃げ切った。

得	〔名短付〕		〔夙川〕	得
0	庵下	GK	伊吹	0
0	洞口	GK	中井	0
3	川口	FP	藤原	0
2	新地	FP	大井	5
4	梶田	FP	小山	0
4	山川	FP	戝田	2
0	中村	FP	碇	2
1	黒木	FP	中尾	4
3	安田	FP	柏木	0
0	横川	FP	市岡	1
0	森村	FP	小杉	0
		FP	田村	0
17	(1)	PT	(3)	14

〔審・浅井　家永〕

準決勝

川崎北21 〔14－10 7－6〕 16小松市女

〔戦評〕立ち上がりは小松市女が宮崎の3連続得点などで4－1とリード。しかし、川崎北は船山のポストシュートをきっかけに吉崎、武田、落合らチーム一丸となっての攻撃でじりじり追い上げ5－4と逆転。ここからは川崎北のペースになり、[illegible]松市女は森本、武田を中心にした川崎北のディフェンスになかなか思うように攻め切れず、14－10と川崎北の4点リードで折り返した。
　後半になっても川崎北のペースは変わらず、小松市女は決定力に欠け、結局21－16で川崎北が逃げ切った。

得	〔川崎北〕		〔小松女〕	得
0	北條	GK	鏡森	0
0	池端	GK	小前田	0
1	小森	FP	大野	5
3	吉崎	FP	北崎	2
4	沓掛	FP	宮崎	8
4	船山	FP	竹村	1
3	落合	FP	東野	0
0	森本	FP	出野	0
6	武田	FP	滝川	0
0	若林	FP	中野	0
0	小坏	FP	中野	0
0	松島	FP	木下	0
21	(2)	PT	(1)	16

〔審・仲田　植村〕

名短付22 〔12－6 10－8〕 14本庄

〔戦評〕まず名短付が先制、前半8分からペースをつかんだ名短付が梶田のロングシュートを中心に着実に得点を重ねていった。一方本庄も広瀬のロングシュートで対抗するが、名短付の固い守りに阻まれてなかなかゴールが決まらなかった。GK坂田もよくがんばったが、12－6と名短付がリードしたまま前半が終了した。
　後半は本庄もペースを取り戻し速攻やサイドシュートで何度も名短付のゴールをゆうしたが、前半での得点差は大きく、結局22－14で名短付が逃げ切った。

得	〔名短付〕		〔本庄〕	得
0	庵下	GK	坂田	0
0	洞口	GK	三升木	0
5	川口	FP	出口	0
0	新地	FP	黒木	0
10	梶田	FP	畠中	0
4	山川	FP	大生	2
0	中村	FP	染矢	4
0	黒木	FP	佐藤	0
2	安田	FP	広瀬	4
1	横川	FP	赤木	4
0	森村	FP	井上	0
		FP	李元	0
22	(0)	PT	(0)	14

〔審・川口　兼田〕

決勝

名短付21 〔11－7 10－11〕 18川崎北

〔戦評〕3年ぶり3度目の優勝を狙う名短付と強豪を連破して波に乗る川崎北との間で女子決勝が行われた。
　前半立ち上がりは両チーム速攻から得点を重ねる。しかし、中盤あたりから名短付がロングシュートで川崎北がポストと互いの持ち味を出し合う。前半残り5分、名短付が速攻でリズムをつかみ11－7で前半を折り返す。
　後半は終始川崎北のペースで展開。残り8分で16－16と追いつき残り7分で17－16と逆転する。しかし、名短付も負けてはおらず、必死にふんばりすぐに追いつき、本来の速攻を展開し再び逆転、川崎北を突き放した。すばらしい追い上げを見せた川崎北であったが、結局21－18で名短付が3度目の優勝を飾った。

得	〔名短付〕		〔川崎北〕	得
0	庵下	GK	北條	0
0	洞口	GK	池端	0
3	川口	FP	小森	3
3	新地	FP	吉崎	2
6	梶田	FP	沓掛	2
9	山川	FP	船山	6
0	中村	FP	落合	1
0	黒木	FP	森本	0
0	安田	FP	武田	4
0	横川	FP	若林	0
0	森村	FP	小坏	0
		FP	松島	0
21	(3)	PT	(0)	18

〔審・島崎　井上〕

第22回全日本実業団トーナメント

トヨタ自動車に栄冠

（2月9日～11日 山口県）

1回戦

トヨタ自動車 27 〔12－8／15－1〕 **9 東ソー**

〔戦評〕前半5分までは、第1試合ということもあって両チームともなかなか得点をあげられなかったが、15分過ぎから東ソーの小さなミスを得点に結びつけてトヨタが引き離すかにみえた。しかし、前半終了2分前の東ソー2得点で前半トヨタの4点リードで終了。

後半の出だしで両チームとも1点ずつをあげたが、10分過ぎからトヨタ・ディフェンスの足がよく動き始め、後半を1点におさえて楽々と逃げ切った。

得	〔トヨタ〕		〔東ソー〕	得
0	西井	GK	椋梨	0
0	富森	GK		
5	香井	FP	藤井	2
7	川田	FP	後藤	0
1	酒井	FP	館	3
1	田村	FP	森広	1
1	松尾	FP	藤井	0
0	村上	FP	藤井	3
1	杉元	FP	東川	0
6	野々	FP	田中	0
0	光田	FP	山縣	0
5	山ノ内	FP		
27	(1)	PT	(1)	9

審・野村・吉村

豊田合成 36 〔14－6／12－5〕 **11 コスモ石油**

〔戦評〕両チーム順調な立ち上がりをみせ、ロングシュート、ステップシュートと多彩な攻撃を展開。序盤はGKの好守が光る。中盤、豊田合成の好ディフェンスによる速攻の連続得点が目立つ。一方、コスモ石油はセット・オフェンスによる攻めが多いが、得点に結びつかない甘いプレーが多く、ディフェンスにもラフプレーが見られる。

後半立ち上がり、走力、セット力、ディフェンス力とも勝る豊田合成が一方的に得点を重ね、ゲームを決める。

得	〔合成〕		〔コスモ〕	得
0	則武	GK	谷口	0
0	梅村	GK		
3	中山	FP	善岡	0
8	花井	FP	松田	0
3	渡辺	FP	北畑	5
1	黒田	FP	高橋	0
4	森	FP	川端	2
1	有竹	FP	八木	2
4	小林	FP	福本	0
7	上條	FP	松本	2
3	堀部	FP	西本	0
2	森山	FP		
36	(2)	PT	(0)	11

審・岡村・山根

北陸電力 26 〔13－7／8－14／2－2／3－2〕 **25 マツダ**

〔戦評〕北陸は角谷のシュートで好調な立ち上がりをみせ、序盤のペースを握った。マツダも粘って反撃したが、北陸のチェックの早いディフェンスに攻め切れず、再三GKにノーマークシュートをキープされた。北陸は着実に加点し、徐々に点差を広げた。

後半、北陸が2点連取したが、マツダは弘中などの活躍で5点連取し勢いづいた。北陸は前半のようなディフェンスのチェックがなく、互いに点の取り合いとなり延長にもつれ込んだ。延長に入り、両チームGKの好守で息づまる展開となったが、終了5秒前、北陸・田中のシュートで勝負が決した。

得	〔北陸〕		〔マツダ〕	得
0	熊本	GK	堀	0
0	竹内	GK		
1	大石	FP	河本	0
0	近葉	FP	越谷	3
3	鍛原	FP	三浦	2
8	角谷	FP	裏崎	0
7	田中	FP	小林	6
4	三田	FP	村上	0
0	稲崎	FP	藤田	7
1	川上	FP	藤井	1
0	仲野	FP	弘中	6
2	前田	FP	磯本	0
26	(2)	PT	(4)	25

審・野村・吉村

豊田自動織機 27 〔11－7／16－8〕 **15 自衛隊横須賀**

〔戦評〕斉藤、末武のロングシュートに頼る横須賀に対し、ディフェンスから速攻、奥畑を中心にしたコンビプレーで得点する豊田自織が前半を11－7と4点リードした。後半、横須賀のディフェンスが荒くなり、退場する間、豊田自織は着実に得点した。横須賀も斉藤のロングで反撃するが、よく走った豊田自織がペースをつかみ、27－15で豊田自織が勝利を収めた。

得	〔自織〕		〔横須賀〕	得
0	丸山	GK	柴田	0
0	武藤	GK	中村	0
0	桑原	FP	蟹江	1
0	井上	FP	奥畑	5
2	斉藤	FP	大沢	4
5	末武	FP	諫山	3
6	松村	FP	倉田	4
0	棚木	FP	鎌田	2
1	杉田	FP	杉浦	6
1	橋本	FP	山田	0
0	勝山	FP	伊藤	2
0	外崎	FP	田上	0
15	(2)	PT	(2)	27

審・萬里場

本田技研爽風会 34 〔17－4／17－7〕 **11 日本原子力研究所**

〔戦評〕本田は試合開始から大西のロングシュート、GKからのワンパス速攻で次々と加点、対して日本原研は安掛のミドル、宮本のロングで返すが、走力に上回る本田が前半を13点差と大きくリードした。後半も走力に勝る本田が次々と加点し、大差のゲームとなった。日本原研は、本田ディフェンスにボール回しを分断され、思うような攻撃ができなかった。

得	〔爽風会〕		〔原研〕	得
0	内山	GK	広瀬	0
0	奈須	GK		
4	弥吉	FP	志賀	2
3	大西	FP	藤本	0
3	関根	FP	安掛	6
10	井方	FP	安達	0
1	平井	FP	荻原	0
2	木下	FP	坪井	1
3	永谷	FP	相沢	0
2	門口	FP	宮本	2
5	小野寺	FP		
1	川筋	FP		
34	(6)	PT	(0)	11

審・岡本・中川

大同特殊鋼星崎 33 〔18－5／15－2〕 **7 三井石化千葉**

〔戦評〕立ち上がりより大同特殊鋼星崎のつめの早い、厳しいディフェンスに三井石化は攻め手を欠き、無理な攻撃が目立ち、速攻による失点が多い。大同のディフェンス両サイド久米、宇戸の走りがシャープで、速攻時のバランスがよく、多彩である。攻守ともに大同が安定したプレーをして三井石化のスピード負けの感あり、前半の中盤でゲームの勝敗が決定した。

得	〔大同〕		〔三井〕	得
0	浜野	GK	中田	0
0	松崎	GK		
6	森山	FP	田中	2
6	酒匂	FP	佐藤	0
6	久米	FP	坂本	0
7	古澤	FP	森重	0
3	宇戸	FP	岡村	0
4	横浜	FP	相田	2
1	牧野	FP	貴船	1
0	野田	FP	三村	2
		FP	三林	0
		FP	木村	0
33	(1)	PT	(0)	7

審・萬里場

金沢市役所 21〔12−8 / 9−5〕**13 日本発条**

〔戦評〕両チーム互角の立ち上がりから金沢が速攻による7連敗で8対3としてゲームの主導権を握った。その後一進一退の攻防が続き、金沢が4点をリードして前半を終えた。後半、運動量に勝る金沢が速攻で着々と加点したのに対し、日本発条は後半14分間、ペナルティによる1点におさえられたのが痛かった。

〔金沢〕		得
GK	竹中	0
GK	秋田	0
FP	垣内	2
FP	岡	3
FP	金森	0
FP	柄本	7
FP	倉	0
FP	水野	0
FP	真田	6
FP	西田	3
FP	池村	0
FP	中村	0
PT	(0)	21

〔発条〕		得
GK	清水	0
GK	手島	0
FP	井上	4
FP	山田	1
FP	中村	3
FP	進藤	0
FP	舛屋	1
FP	井上	4
FP	石塚	0
FP	前原	0
PT	(2)	13

〔審・山根 岡村〕

日本電装 30〔16−6 / 14−5〕**11 自衛隊久里浜**

〔戦評〕日本電装は速攻にロングシュート、ポストプレーと多彩な攻撃を展開し、持ち前の攻撃力を発揮した。一方、久里浜は黒木のロングを中心としたセット力をつめの早い日本電装のディフェンスやGKの好守に阻まれ、前半を16対6で終える。後半も流れは変わらず、大差で勝敗は決した。

〔電装〕		得
GK	高橋	0
GK	福山	0
FP	杉村	4
FP	橋本	2
FP	久本	4
FP	井上	5
FP	笠	2
FP	岡崎	5
FP	樋口	2
FP	難波	2
FP	柴田	2
FP	森迫	2
PT	(4)	30

〔久里浜〕		得
GK	下平	0
GK	桜田	0
FP	渡辺	1
FP	中根	1
FP	中村	0
FP	黒木	4
FP	友利	1
FP	永谷	1
FP	白坂	0
FP	黒木	3
FP	菅野	0
FP	竹島	0
PT	(1)	11

〔審・中川 岡本〕

竹芝精巧 27〔12−6 / 15−11〕**17 日本耐酸壜工業**

〔戦評〕両チームとも立ち上がりミスが多く、速攻、遅攻ともになかなか得点に結びつかなかった。前半を12対6で竹芝精攻がリードして折り返し、後半は両チームともスピードのあるプレーをくり広げたが、結局27対17の10点差で竹芝が勝利を収めた。

〔竹芝〕		得
GK	桜川	0
FP	中間	4
FP	桐木	6
FP	馬場	4
FP	三本	3
FP	今村	0
FP	坂元	2
FP	野崎	5
FP	三橋	3
FP	土肥	0
FP	長野	0
PT	(4)	27

〔耐酸〕		得
GK	岩田	0
GK	足立	0
FP	木村	0
FP	古田	1
FP	玉田	3
FP	谷	1
FP	吉安	1
FP	五島	4
FP	古賀	2
FP	野村	5
FP	青野	0
PT	(0)	17

〔審・古富 長本〕

大阪ガス 23〔12−6 / 11−10〕**16 中村荷役運輸**

〔戦評〕前半3分過ぎまで両チームともいい形で攻めながらもミスが続き、得点には結びつかないというゲームスタートとなった。その後は相手のミスを確実に速攻へつなげた大阪ガスが12対6とリードして前半を終了した。

後半に入っても、1分過ぎ大阪ガス・濱田の速攻などでリードを広げるかに見えたが、中村荷役も4分過ぎには猪巻のスカイシュート、速攻、さらに9分過ぎには速攻からのポストシュートを城間が決め、一時は1点差まで追い上げた。しかし、大阪ガスも中村、加地、濱田らの得点で23対16と粘る中村荷役をふり切った。

〔大阪〕		得
GK	福田	0
GK	森	0
FP	奥野	1
FP	加地	7
FP	合田	5
FP	岩本	0
FP	中村	1
FP	長田	2
FP	田坂	2
FP	藤田	0
FP	濱田	3
FP	大川	2
PT	(1)	23

〔荷役〕		得
GK	飯塚	0
GK	文	0
FP	飯田	1
FP	松本	1
FP	大沼	0
FP	猪巻	4
FP	城間	3
FP	福地	0
FP	三尾	3
FP	田中	2
FP	大木	2
PT	(1)	16

〔審・森山 中園〕

三和銀行 22〔10−8 / 12−12〕**20 山陽国策パルプ**

〔戦評〕前半は両チームともゆっくりした展開で10対8と三和銀行がリードを守った。後半に入ると両チームとも早い展開で4分過ぎに山陽が同点に追いつく。互いに一進一退の好ゲームを展開したが、三和が山陽のスキをついたポストシュートなどで22対20で逃げ切った。

〔三和〕		得
GK	岩永	0
GK	丸山	0
FP	加藤	8
FP	滝	4
FP	大和	1
FP	山崎	0
FP	木村	0
FP	松永	0
FP	川本	5
FP	田中	4
FP	吉川	0
FP	岩田	0
PT	(3)	22

〔山陽〕		得
GK	見上	0
FP	松本	6
FP	南波	2
FP	山崎	0
FP	上村	7
FP	原田	1
FP	白銀屋	2
FP	末岡	0
FP	高橋	1
FP	小松	0
FP	織田	1
PT	(0)	20

〔審・池田 久保〕

セントラル自動車 31〔16−4 / 15−7〕**11 日本碍子**

〔戦評〕前半の立ち上がりよりセントラル自動車の一方的な攻撃のゲーム展開となった。日本碍子は決め手がなく、無理なシュートを打ち、逆速攻につなげられ点差は広がるばかりであった。後半も前半同様、セントラル自動車の速い攻撃を日本碍子は守り切れなかった。

〔セント〕		得
GK	佐藤	0
GK	寿田	0
FP	笠場	5
FP	瀬戸	3
FP	阿部	3
FP	尾形	1
FP	海老原	2
FP	貴船	1
FP	中村	8
FP	千葉	5
FP	伊東	3
PT	(1)	31

〔ガイシ〕		得
GK	野本	0
GK	本山	0
FP	森	1
FP	清水	4
FP	江口	0
FP	梅岡	0
FP	喜多	1
FP	岩田	2
FP	竹内	0
FP	西脇	0
FP	高木	3
FP	磯山	0
PT	(0)	11

〔審・塩見 高〕

日鉄建材 27〔13−7 / 14−16〕**23 新日鉄名古屋**

〔戦評〕前半5分まで0対0のままお互い動きが固く得点につながらなかったが5分過ぎより日鉄建材側のロングが決まりだしリードするかに見えたが、新日鉄側もサイドシュートや速攻などで追いつき再びシーソーゲームとなったが、徐々に差が開き、前半を6点差で

終わった。

後半も前半と同様の試合展開で動きは新日鉄もよいのだが、長身者3人を揃える日鉄建材が終始リードを保った。残り3分に日鉄建材・板井が失格となり新日鉄が追い上げたがタイムアップとなった。

〔名古屋〕	得		得	〔日鉄〕
浜田	0	GK	0	古里
			0	川上
平野	0	FP	5	杉本
土屋	2		3	谷内
清水	1		3	鹿嶌
蟹江	6		6	上山
大島	3		0	外山
堀	7		5	池辺
水谷	3		5	板井
竹上	1			
伊藤	0			
渡辺	0			
23	(1)	PT	(3)	27

〔審・古富、長井〕

神戸製鋼18〔8－4 / 10－8〕**12 JUKI**

〔戦評〕立ち上がりから白熱したゲーム展開だったが、お互いにミスが目立ち、得点に結びつかなかった。前半を8対4と神戸製鋼リードで折り返し後半へ。

後半に入ってもお互いのミスは減らず、またJUKIは神戸製鋼の退場した好機に得点を伸ばすことができず、点差は縮まらなかった。

〔JUKI〕	得		得	〔神戸〕
長谷川	0	GK	0	藤堂
木暮	0		0	宮永
後藤	0	FP	1	江口
溝渕	2		2	滋野
北村	1		0	山本
東海林	1		0	沢山
河野	1		0	藤谷
沢井	2		9	猿丸
岩渕	0		1	河内
鷹野	5		0	太田
長澤	0		4	坂本
福池	0		1	本川
12	(1)	PT	(1)	18

〔審・塩見、高〕

徳山曹達37〔16－9 / 21－12〕**21常陽銀行**

〔戦評〕前半立ち上がり、両チーム譲らぬ攻防で接戦かと思われたが、10分過ぎから徳山曹達が相手のミスをうまく誘い、東のミドルシュート、広中、湯浅らの速攻で16－9とリードして前半を終了した。後半に入って、常陽銀行は吉川、入江らの得点で粘りをみせるが、徳山曹達も速攻でリードを広げ逃げ切った。

〔常陽〕	得		得	〔徳山〕
高橋	0	GK	0	藤本
木村	0		0	村上
下山田	1	FP	0	山上
佐川	4		3	重永
桜井	0		1	前田
吉川	8		2	湊
原田	3		6	広中
入江	4		0	中村
中田	1		7	中村
小松	0		8	東
海老沢	0		10	湯浅
沢畑	0		0	峯重
21	(3)	PT	(4)	37

〔審・塩見、高〕

三景28〔12－12 / 16－8〕**20新日鉄大分**

〔戦評〕新日鉄は河野、大杉のミドルシュートと牧のサイドなど多彩な攻撃で着実に得点を重ねていった。一方三景も斉藤のロングや福士のサイド、速攻などを織り混ぜた攻撃で前半終了間際に同点に追いついた。後半立ち上がり早々新日鉄が速攻2本でリードしたが三景もすぐに追いつき、逆にリードしてからは三景のペースとなり徐々に差が広がり、一方的なゲーム展開となった。

〔大分〕	得		得	〔三景〕
戝満	0	GK	0	中村
谷川	0		0	石井
小森	0	FP	5	斉藤
牧	3		6	高橋
房前	3		5	金井
大杉	3		1	清田
麻生	6		0	小金山
安部	0		5	木原
得丸	0		0	高橋
河野	5		0	吉野
吉田	0		0	近藤
			6	福士
20	(0)	PT	(3)	28

〔審・池田、久保〕

2回戦

トヨタ自動車31〔14－6 / 17－3〕**9豊田合成**

〔戦評〕地力に勝るトヨタ自動車が、ポイントゲッター・川田の活躍で前半から着実に加点、14－6と大きくリードを奪った。

後半に入ってもこの展開は変わらず、豊田合成はトヨタのディフェンスを攻めあぐみ、大差で勝敗が決した。

〔合成〕	得		得	〔トヨタ〕
則武	0	GK	0	西井
梅村	0		0	富森
中山	0	FP	4	香井
花井	0		16	川田
渡辺	0		0	酒井
黒田	2		1	田村
岩田	0		2	松尾
真島	0		1	村上
小林	0		3	杉元
上條	4		1	野々
堀部	2		0	光田
高峰	1		3	山ノ内
9	(1)	PT	(6)	31

〔審・森山、中園〕

北陸電力16〔7－9 / 9－5〕**14豊田自動織機**

〔戦評〕走りだしペースのつかめない北陸電力は、セット・オフェンスで攻めきれず、豊田自織の速攻につかまり一時6対0と離された。しかし、粘る北陸電力はディフェンスでがんばりをみせ、また角谷、田中のミドルなどで追い上げ、16－14と逆転で接戦をものにした。

〔自織〕	得		得	〔北陸〕
柴田	0	GK	0	熊本
中村	0		0	竹内
蟹江	0	FP	2	大石
奥畑	0		0	近葉
大沢	2		2	鍛原
倉田	1		3	角谷
小川	0		7	田中
鎌田	0		2	三田
杉浦	0		0	稲崎
大野	10		0	川上
山田	1		0	仲野
田上	0		0	前田
14	(0)	PT	(3)	16

〔審・里、萬場〕

大同特殊鋼星崎22〔12－9 / 10－8〕**17本田技研爽風会**

〔戦評〕試合開始から大同は酒匂のロング、横浜の速攻などで前半6分までに5対0とリードした。対する本田も7分に弥吉のスカイプレーから連続3ゴールをあげ、3点差とした。その後もじわじわと点差をつめて20分に同点に追いついたが、終了間際に加点した大同が2点差として前半を終了。

後半2分から本田に退場者の出る間に大同は確実に得点し、後半10分を終わって大同が6点をリード。その後、進一退が続いたが、大同が5点差で勝利をものにした。

〔爽風会〕	得		得	〔星崎〕
内山	0	GK	0	浜野
奈須	0		0	松崎
弥吉	4	FP	3	森山
大西	3		9	酒匂
関根	4		2	久米
井方	0		2	古澤
平子	1		1	宇戸
平井	0		5	横浜
木下	2		0	牧野
永谷	0		0	野田
小野寺	3			
宮本	0			
17	(0)	PT	(3)	22

〔審・中園、森山〕

日本電装19〔11－8 / 8－8〕**16金沢市役所**

〔戦評〕前半の序盤、日本電装の好守備と両サイドの走りが冴え、速攻の得点が光る。一方、金沢市役所は単調な攻めとラフプレー、パスミスなどによる失点が目立つ。15分より両チームとも攻守のバランスがとれ互角の展開となる。

後半は金沢市役所の立ち上がりがよく、軽快なゲーム展開をする。中盤は両チームGKの再三にわたる好守備でゲームを盛り上げる。結局、前半のリードを守った日本電装が逃げ切った。

〔金沢〕	得		得	〔電装〕
竹中	0	GK	0	高橋
秋田	0		0	福山
垣内	1	FP	2	杉村
岡	7		0	橋本
金森	0		2	久本
橋本	1		1	岸田
倉	0		7	井上
水野	0		3	笠
真田	5		0	近藤
西田	2		0	梅井
池村	0		1	難波
中村	0		3	柴田
16	(0)	PT	(0)	19

〔審・古富、長井〕

竹芝精巧 18（8－7, 10－10）17 大阪ガス

〔戦評〕前半開始早々、竹芝精巧・中間の速攻やサイドの回り込みで4点を連取、一方的なゲームになるかにみえたが、大阪ガスは合田のカットインでやっと1点を返すが、なかなか攻め切れず苦しんでいたが、加地が連続3点決めるなど徐々に追いつき前半終了間際には1点差となった。

後半に入り、竹芝はポストを使った攻撃で差を広げ、着実に加点した。一方大阪ガスはペナルティー3本を止めるなどGKの好守があったものの加地のミドルやカットインに頼るが今一歩及ばなかった。

〔大阪〕		得
GK	福田	0
	森	0
FP	奥野	1
	加地	6
	合田	1
	岩本	0
	中村	0
	長田	2
	田坂	4
	藤田	0
	濱田	1
	大川	2
PT	(2)	17

〔竹芝〕		得
GK	桜川	0
FP	中間	5
	桐木	3
	馬場	4
	三本	1
	今村	5
	坂元	0
	野崎	0
	三橋	0
	土肥	0
	長野	0
PT	(0)	18

〔審・岡本・中川〕

セントラル自動車 25（13－6, 12－7）13 三和銀行

〔戦評〕前半立ち上がり、千葉のミドルシュート、瀬戸のサイドシュートなどで主導権を握ったセントラル自動車が14対6とリードして終了した。後半に入って、三和銀行も加藤、川本らの得点で追い上げるが、セントラル自動車も阿部の連取などにより26対13で振り切った。

〔三和〕		得
GK	岩永	0
FP	加藤	4
	滝	2
	大和	2
	山崎	0
	川本	4
	田中	1
PT	(1)	13

〔セント〕		得
GK	佐藤	0
	寿田	0
FP	笠場	5
	瀬戸	4
	阿部	5
	尾形	0
	海老原	3
	貴船	3
	中村	3
	千葉	2
	伊東	0
PT	(1)	25

〔審・久保・池田〕

日鉄建材 22（10－6, 12－8）14 神戸製鋼

〔戦評〕長身者3名のロングシュートを中心に速攻をまじえての攻撃を見せる日鉄建材と試合好者の神戸製鋼。神戸GKの好守と多彩な攻撃によってシーソーゲームとなったが、前半終了5分前より日鉄建材がフローター中心の攻撃によって連続ゴールし4点差をつけた。後半立ち上がり早々、日鉄建材のミスからの速攻で連続ゴールし勢いに乗ったが、地力に勝る日鉄建材が板井の活躍で徐々に点差を広げ振り切った。

〔神戸〕		得
GK	宮永	0
	藤堂	0
FP	江口	1
	滋野	4
	山本	0
	沢山	0
	藤谷	0
	猿丸	6
	河内	0
	太田	0
	坂本	1
	本川	2
PT	(0)	14

〔日鉄〕		得
GK	古里	0
	川上	0
FP	杉本	1
	山口	1
	谷内	1
	鹿嶌	7
	上山	5
	外山	1
	池辺	0
	板井	6
PT	(1)	22

〔審・岡村・山根〕

三景 20（9－10, 11－6）16 徳山曹達

〔戦評〕立ち上がりから激しいゲーム展開となった。三景は斉藤、高橋らを中心に得点を重ねるが、ポストシュート、速攻を徳山曹達のGK村上にことごとく阻止されリードするきっかけがみつからない。徳山は前半終了間際に湯浅のシュートで1点をリードして折り返す。後半に入ってすぐに三景が追いつき、以後じりじりとリードを奪い、20対16と4点差をつけて徳山曹達をふり切った。

〔徳山〕		得
GK	藤本	0
	村上	0
FP	山上	0
	重永	0
	前田	1
	湊	5
	広中	3
	中村	4
	東	2
	湯浅	1
	峯重	0
	手島	0
PT	(1)	16

〔三景〕		得
GK	中村	0
	石井	0
FP	斉藤	4
	高橋	7
	金井	4
	清田	0
	小金山	0
	木原	0
	高橋	0
	吉野	0
	近藤	0
	福士	5
PT	(4)	20

〔審・岡本・中川〕

3回戦

トヨタ自動車 44（20－7, 24－11）18 北陸電力

〔戦評〕北陸・鍛原が2分40秒に得点、20秒後にはトヨタの香井が得点。2対2の同点からトヨタのフリースローラインの外までチェックする積極的なプレス・ディフェンスに対して北陸は攻撃を分断されパスカットされたり苦しい体勢からのシュートに追い込まれたりしてトヨタの12連続得点を許してしまった。21分30秒、北陸・角谷のシュートが決まり田中、川上がそれに続いたが、7点を返すのがやっとだった。

〔北陸〕		得
GK	熊本	0
	竹内	0
FP	大石	0
	近葉	0
	鍛原	3
	角谷	5
	田中	4
	三田	0
	稲崎	0
	川上	4
	仲野	0
	前田	2
PT	(0)	18

〔トヨタ〕		得
GK	富森	0
	山本	0
FP	香井	6
	川田	12
	酒井	2
	田村	1
	松尾	1
	村上	0
	杉元	9
	野々	6
	光田	2
	山ノ内	5
PT	(2)	44

〔審・萬場・里〕

日本電装 34（16－12, 18－13）25 大同特殊鋼星崎

〔戦評〕前半、両者ともよく守りセットでは得点できず速攻での点の取り合いとなった。大同のシュートミスに対し、よく守り、速攻を確実に点に結びつけた日本電装が前半16－12とリードした。

〔星崎〕		得
GK	浜野	0
	松崎	0
FP	森山	6
	酒匂	10
	久米	1
	古澤	3
	宇戸	1
	横浜	4
	牧野	0
	野田	0
PT	(6)	25

〔電装〕		得
GK	高橋	0
	福山	0
FP	杉村	4
	橋本	4
	久本	6
	岸田	2
	井上	2
	笠	7
	樋口	0
	梅井	2
	難波	5
	柴田	2
PT	(2)	34

〔審・長井・古富〕

後半、ロングシュートをつめの早いディフェンスで封じられた大同がポストシュートなどで反撃を試みるが、日本電装のミスに乗じての速攻やロングシュートに冴えをみせ34対25で勝利を収めた。

竹芝精巧 26 〔12−11 14−10〕 21 セントラル自動車

〔戦評〕前半、最初から竹芝精巧のペースでゲームが進められて攻め手のないセントラル自動車の無理なシュートやミスからの速攻で徐々に点差を広げた。しかし、セントラル自動車も前半残り5分よりリズムが良くなり、逆に竹芝のミスにつけ込み速攻で1点差として前半を終了した。後半に入り、セントラル自動車は千葉のロングと速攻とで連続ゴールし一時逆転に成功、波に乗るかに見えたが、10分過ぎ竹芝が速攻2本で再び逆転してからは終始竹芝ペースのゲーム展開となった。

	〔セント〕	得
GK	佐藤	0
GK	寿田	0
FP	笠場	2
FP	瀬戸	0
FP	阿部	4
FP	尾形	0
FP	海老原	6
FP	貴船	0
FP	中村	3
FP	千葉	6
FP	伊東	0
PT	(4)	21

〔審・岡山 村根〕

	〔竹芝〕	得
GK	桜川	0
FP	中間	9
FP	桐木	5
FP	馬場	2
FP	三本	4
FP	今村	1
FP	坂元	0
FP	野崎	5
FP	三橋	0
FP	土肥	0
FP	長野	0
PT	(7)	26

三景 31 〔13−11 18−17〕 28 日鉄建材

〔戦評〕前半立ち上がり、上山のミドルで先制した日鉄建材が、その後も板井らの得点でリードを広げるかに思われたが、三景も福士のステップシュートを機に高橋らの得点で20分過ぎには1点差、23分には金井のサイドシュートで同点に追いついた。その後も高橋、金井らの得点で三景が差を広げ、前半を13対11で終了した。後半に入って、10分には上山、鹿嶌らの得点で同点に追いついたが、その後、三景の福士、金井らが得点を重ね、31対28で逃げ切った。

	〔日鉄〕	得
GK	古里	0
GK	川上	0
FP	杉本	6
FP	山口	0
FP	谷内	0
FP	鹿嶌	2
FP	上山	7
FP	外山	2
FP	池辺	1
FP	板井	10
PT	(1)	28

〔審・久池 保田〕

	〔三景〕	得
GK	中村	0
GK	石井	0
FP	斉藤	2
FP	高橋	5
FP	金井	11
FP	清田	2
FP	小金山	0
FP	木原	0
FP	高橋	0
FP	吉野	0
FP	近藤	1
FP	福士	10
PT	(4)	31

準決勝

トヨタ自動車 31 〔18−7 13−18〕 25 日本電装

〔戦評〕前半立ち上がり、トヨタ自動車・田村、日本電装・井上らの得点で接戦かと思われたが、10分過ぎ日本電装の相次ぐ退場を機にトヨタが川田らのシュートで着実に得点を重ね18対7で前半を終了した。後半に入って、日本電装は15分過ぎからトヨタ自動車・川田にマンツーマン・ディフェンスを試み、笠らの得点もあって追い上げたが、前半のトヨタのリードが大きく、31対25でトヨタ自動車が逃げ切った。

	〔電装〕	得
GK	高橋	0
GK	福山	0
FP	杉村	3
FP	橋本	2
FP	久本	0
FP	井上	3
FP	笠	6
FP	岡崎	2
FP	樋口	3
FP	梅井	1
FP	難波	3
FP	柴田	2
PT	(5)	25

〔審・久池 保田〕

	〔トヨタ〕	得
GK	西井	0
GK	富森	0
FP	香井	3
FP	川田	10
FP	酒井	2
FP	田村	4
FP	松尾	0
FP	村上	0
FP	杉元	5
FP	野々	5
FP	光田	2
FP	山ノ内	0
PT	(2)	31

三景 29 〔15−9 14−12〕 21 竹芝精巧

〔戦評〕立ち上がり、三景が金井のサイドシュートによるペナルティーや速攻と2点を連取したが、竹芝も桐本の連続速攻で逆転、その後互いに固い守りで五分五分の試合展開となったが、前半終了前に竹芝のミスが続き速攻で6点差となった。後半に入ってもゲームの流れは変わらず、三景の厚いディフェンスを崩しきれない竹芝のミスから速攻で着実に加点していった。しかし、残り10分に三景の金井が2回目の退場となり、一時3点差となったが再び三景ペースとなりそのままゲームセットとなった。

	〔竹芝〕	得
GK	桜川	0
FP	中間	6
FP	桐川	6
FP	馬場	2
FP	三本	4
FP	今村	2
FP	坂元	0
FP	野崎	1
FP	三橋	0
FP	土肥	0
FP	長野	0
PT	(3)	21

〔審・長古 井富〕

	〔三景〕	得
GK	中村	0
GK	石井	0
FP	斉藤	0
FP	高橋	6
FP	金井	6
FP	清田	7
FP	小金山	2
FP	木原	0
FP	高橋	0
FP	吉野	0
FP	近藤	3
FP	福士	5
PT	(3)	29

3位決定戦

日本電装 32 〔15−10 17−14〕 24 竹芝精巧

〔戦評〕両チームとも順調な立ち上がりをみせ互角のゲーム展開をする。

竹芝は中間、桐本、今村の好プレーがたびたびみられるが、ディフェンス力に勝る日本電装がよく守り、岡崎、難波を中心にロングシュート、カットインシュートで得点を重ね、15対10と日本電装の5点リードで前半終了。

後半、両チーム互角のゲーム展開をするが、10分経過あたりから日本電装の退場者が続き、竹芝のリズムでゲームが進み好ゲームとなるが、スピードに勝る日本電装が終始優位にゲームを進め逃げ切った。

	〔竹芝〕	得
GK	桜川	0
FP	中間	4
FP	桐川	4
FP	馬場	3
FP	三本	2
FP	今村	6
FP	坂元	0
FP	野崎	5
FP	三橋	0
FP	土肥	0
FP	長野	0
PT	(1)	24

〔審・萬 里場〕

	〔電装〕	得
GK	高橋	0
GK	福山	0
FP	杉村	4
FP	橋本	4
FP	久本	4
FP	笠	4
FP	岡崎	4
FP	樋口	0
FP	梅井	1
FP	難波	8
FP	柴田	3
FP	森迫	0
PT	(3)	32

決勝

トヨタ自動車 27 〔8−11 19−9〕 20 三景

〔戦評〕前半1分過ぎ川田の得点で先制したトヨタ自動車に対し三景も近藤がすかさず得点し、10分過ぎに同点になってからしばらく激しい攻防が続いた。

20分過ぎにようやくトヨタ自動車・田村のサイドシュートが決まり、このままトヨタが引き離すかに思われたが、三景もすぐに追いつき逆に三景が三点差をつけて前半を終了。

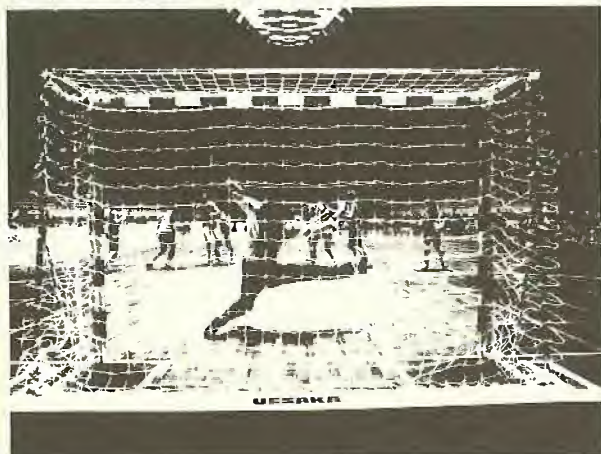
後半に入ると5分過ぎトヨタ自動車・香井の速攻で再び同点となり、20分過ぎまでシーソーゲームの展開となった。その後、香井、杉元らの得点でリードを奪ったトヨタ自動車が着実に点差を広げ、粘る三景を27対20でふり切った。

	〔三星〕	得
GK	中村	0
GK	石井	0
FP	高橋	2
FP	金井	5
FP	清田	3
FP	小金山	0
FP	木原	1
FP	高橋	0
FP	吉野	0
FP	近藤	6
FP	福士	3
PT	(1)	20

〔審・岡山 村根〕

	〔トヨタ〕	得
GK	西井	0
GK	富森	0
FP	香井	5
FP	川田	8
FP	酒井	3
FP	田村	3
FP	松尾	2
FP	村上	0
FP	杉元	5
FP	野々	1
FP	光田	0
FP	山ノ内	0
PT	(2)	27





UESAKA



同

各地の記録から・・・

東海

三重県秋季選手権

（11月11、18、23日／四日市体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦
- 桑名 13－12 津工
- 四日市四郷 20－11 海星
- 高田 13－12 桑名西
- 津西 31－10 名張西
- 桑名北 11－10 四日市南

▼2回戦
- 四日市工 36－3 桑名
- 川越 30－7 上野工
- 四日市 22－8 津東
- 四日市四郷 21－5 四日市中央工
- 桑名工 35－6 高田
- 四日市西 24－18 津西
- 津 16－13 尾鷲
- 亀山 23－4 桑名北

▼3回戦
- 四日市工 24－4 川越
- 四日市四郷 14－13 四日市
- 桑名工 15－11 四日市西
- 亀山 32－10 津

▼準決勝
- 四日市工 16－9 四日市四郷
- 亀山 11－10 桑名工

▼3位決定戦
- 桑名工 15－12 四日市四郷

▼決勝
- 四日市工 21（10－7、11－6）13 亀山

〈女子〉

▼1回戦
- 桑名西 11－8 桑名
- 四日市西 7－5 津
- 上野 12－5 四日市四郷
- 四日市南 33－4 尾鷲
- 川越 12－11 四日市
- 名張西 15－5 松城女
- 四日市商 12－7 津東

▼2回戦
- 暁 28－0 桑名西
- 四日市西 15－11 上野
- 四日市南 12－10 川越
- 四日市商 23－7 名張西

▼準決勝
- 暁 29－3 四日市西
- 四日市商 19－8 四日市南

▼3位決定戦
- 四日市南 18－12 四日市西

▼決勝
- 暁 18（10－3、8－3）6 四日市商

中国

第45回岡山県高校新人大会

（11月3、10、11日／県立津山商業高校）

〈男子〉

▼1回戦
- 児島 16－14 西大寺
- 芳泉 11－5 金川
- 青陵 13－9 水島工
- 玉野 17－12 操山
- 吉備 24－6 関西
- 高梁工 19－13 落合
- 一宮 11－10 古城池

▼2回戦
- 児島 29－4 津山工
- 津山 8－3 芳泉
- 青陵 8－7 総社南
- 倉敷商 21－3 邑久
- 玉野 21－3 矢掛
- 吉備 19－14 朝日
- 高梁工 19－10 備前東
- 一宮 19－4 大安寺

▼3回戦
- 総社 28－3 児島
- 理大付 15－7 津山
- 倉敷工 14－6 青陵
- 岡山工 17－3 倉敷商
- 天城 18－8 玉野
- 吉備 8－8（3 PTC 1）玉野光南
- 倉敷南 22－8 高染工
- 東岡山工 27－4 一宮

▼4回戦
- 総社 26－12 理大付
- 倉敷工 16－6 岡山工
- 天城 20－19 吉備
- 東岡山工 16－13 倉敷南

▼準決勝
- 総社 16－10 倉敷工
- 東岡山工 20－8 天城

▼決勝
- 東岡山工 17（8－4、9－5）9 総社

〈女子〉

▼1回戦
- 津山 17－8 大安寺
- 津山商 18－5 矢掛
- 倉敷南 6－2 青陵
- 古城池 10－8 落合
- 備前東 13－4 芳泉
- 操山 13－8 金川
- 天城 11－2 一宮
- 児島 7－3 朝日

▼2回戦
- 西大寺 23－1 津山
- 倉敷商 19－8 津山南
- 玉野 13－4 倉敷南
- 倉敷中央 14－3 古城池
- 玉野光南 24－1 備前東
- 総社南 7－5 操山
- 真備 15－2 天城
- 総社 16－4 児島

▼3回戦
- 西大寺 31－6 倉敷商
- 倉敷中央 13－7 玉野
- 玉野光南 23－5 総社南
- 真備 15－13 総社

▼準決勝
- 西大寺 21－8 倉敷中央

▼決勝
玉野光南 17－8 真備
玉野光南 10（5－7、5－2）10 西大寺

山口県体育大会（一般の部）

（11月10、11日／山口県立体育館）

〈男子〉
▼1回戦
徳山曹達 26－19 岩国ク
徳山高専 22－17 周南ク
山口県教員団B 29－26 徳山大OB
▼2回戦
山口県教員団A 32－20 徳山曹達
徳山大 31－29 徳山ク
下松ク 31－12 徳山高専
下関ク 34－19 山口県教員団B
▼準決勝
山口県教員団A 25－15 徳山大
下松ク 26－23 下関ク
▼決勝
山口県教員団A 31（13－11、18－7）18 下松ク

〈女子〉
▼リーグ戦
徳山ク 23－6 周南ク
山口ク 18－14 周南ク
徳山ク 32－0 山口ク
（順位）①徳山クラブ②山口クラブ③周南クラブ

全国高校選抜山口県予選

（12月26、27日／岩国商高体育館ほか）

〈男子〉
▼1回戦
岩陽 32－2 西京
防府商 11－8 宇部工
山口 15－14 下関工
徳山工 29－13 野田学園
華陵 12－0 広瀬
下関西 24－13 防府西
小野田工 12－0 聖光
▼2回戦
下松工 20－8 岩陽
高水 25－4 徳山商
下松 23－7 防府商
岩国 22－13 山口
徳山 26－15 徳山工
華陵 19－16 南陽工
下関中工 27－12 下関西
岩国工 28－13 小野田工
▼3回戦
下松工 31－12 高水
岩国 17－12 下松
徳山 28－7 華陵
岩国工 22－12 下関中工
▼準決勝
下松工 19－8 岩国
岩国工 24－11 徳山
▼決勝
下松工 25（15－6、10－5）11 岩国工

〈女子〉
▼1回戦
高水 24－2 防府西
長府 16－13 西京
岩国商 35－7 山口中央
徳山 24－5 響
岩国 15－5 防府商
岩陽 38－9 新南陽
▼2回戦
華陵 11－9 高水
岩国商 21－10 長府
徳山 19－9 岩国
徳山商 36－12 岩陽
▼準決勝
岩国商 15－12 華陵
徳山 12－10 徳山商
▼決勝
岩国商 19（9－4、10－8）12 徳山

九州

第39回鹿児島県高校新人大会

（11月17～19日／国分市総合体育館ほか）

〈男子〉
▼予選リーグ
大島 22－12 指宿
指宿 10－8 加世田
加治木 19－4 加世田
加治木 8－8 大島
鹿児島工 24－9 加治木工
加治木工 20－5 甲陵
鹿児島工 21－5 甲陵
出水 42－6 志布志
笠沙 19－10 志布志
出水 24－9 笠沙
鹿児島中央 20－11 鹿児島高専
甲南 14－5 鹿児島高専
甲南 21－11 鹿児島中央
鶴丸 15－8 頴娃
鶴丸 25－7 隼人工
隼人工 11－9 頴娃
鹿児島南 15－6 薩南工
国分 28－2 薩南工
国分 16－13 鹿児島商
▼決勝トーナメント1回戦
甲南 13－12 鶴丸
出水 29－9 国分
鹿児島工 18－11 大島
▼準決勝
加治木 21－11 甲南
出水 22－9 鹿児島工
▼決勝
出水 32（14－6、18－5）11 加治木

〈女子〉
▼予選リーグ
国分実 15－7 奄美
奄美 34－5 志布志
国分実 34－3 志布志
牧園 13－3 鹿児島中央
鹿児島南 23－1 鹿児島中央
鹿児島南 14－4 牧園
鹿児島純心 24－9 神村学園
神村学園 25－13 出水
鹿児島純心 28－2 出水
▼決勝トーナメント1回戦
牧園 12－11 奄美
▼準決勝
国分実 22－9 牧園
鹿児島南 14－13 鹿児島純心
▼決勝
鹿児島南 17（7－5、10－8）13 国分実

アジア選手権大会入場料金決まる

第6回男子・第3回女子アジアハンドボール選手権大会
兼バルセロナオリンピックアジア地区予選大会
兼世界選手権アジア地区予選大会

開催期日　1991年8月21日〜9月1日

会　　場　広島サンプラザ
　　　　　広島市東区スポーツセンター

入場料金

共通券	3,000円（大会全試合）
（一般前売券）	
開会式	1,500円（当日券2,000円）
準決勝	1,500円（当日券2,000円）
決勝	1,500円（当日券2,000円）
予選リーグ	1,000円（当日券1,500円）
（中高前売券）	
全試合とも1日券	500円（当日券700円）

6月15日（土）より予約受付開始

問い合わせ先　日本ハンドボール協会
03(3481)2361

’91広島

アジアハンドボール選手権大会を成功させよう!!

―第6回男子・第3回女子アジアハンドボール選手権大会
兼バルセロナオリンピックアジア地区予選―

（日程）　一九九一年八月二十二日㈭～九月一日㈰

（大会会場）　広島サンプラザ・広島市東区スポーツセンター

㈶日本ハンドボール協会
広島県ハンドボール協会

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三〇七号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成三年三月二十六日 印刷
平成三年四月一日 発行
東京都渋谷区神南一―一―一
電話 代表 三四八一―二三六一
振替 東京 六―五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)